

AUTO MESSENGER
れんら君
UNCM-RP11/UNCM-RP11P1
設定ソフト取扱説明書

V-1.3

本製品を安全に正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよく
お読みになり、内容を理解された上でご使用ください。
また本取扱説明書を大切に保管され保守、点検時にご活用ください。

N K E 株式会社

取扱説明書変更履歴

バージョン	日付	変更内容
EUNCRP11-802A (V-1.0)	2006.02.17	初版
EUNCRP11-802B (V-1.1)	2006.04.20	コマンドメール機能記述追加 (ファームウェアバージョンアップ対応)
EUNCRP11-802C (V-1.2)	2006.06.19	使用ポート番号に関する注意記述追加
EUNCRP11-802D (V-1.3)	2007.04.27	コマンドメール機能に関する記述追加

ご注意

- 本書の内容に関しましては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しまして誤りや記載もれなどお気付きの点がございましたら、お手数ですが弊社までお知らせください。

はじめに

このたびは**本製品**をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。

安全にまた正しくお使いいただくために

注意

- 本製品は必ず仕様範囲内でお使いください。
- 配線作業を行うときは必ず電源を切ってください。
- 本製品標準型である端子台型と接続する電源はDC24V安定化電源をご使用ください。
- LAN伝送ラインや入出力ラインは高圧線や動力線と離してご使用ください。
- 誤配線はトラブルの原因となります。接続用端子の信号表示にあわせて接続してください。
- 静電気や衝撃などに十分注意してお取り扱いください。
- 本製品は宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。

保証について

本製品の保証は日本国内で使用する場合に限ります。

- 保証期間

納入品の保証期間は納入後1ヶ年とします。

- 保証範囲

上記保証期間中に本取扱説明書に従った製品使用範囲内の正常な使用状態で故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行います。

ただし、次に該当する場合はこの保証の範囲から除外させていただきます。

- (1) お客様の不適切な取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因がお客様の事由による場合。
- (3) お客様の改造または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害等で納入者の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

- 有償修理

保証期間後の調査及び修理は全て有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障の修理及び故障の原因調査（保証範囲の場合を除く）は有償にてお受け致します。修理に関するご依頼はお買い上げの販売店にお申しつけください。

- 部品のご注文、お問い合わせ

製品の故障、部品のご注文、その他お問い合わせの節は、次の事項をお買い上げの販売店まで詳しくご連絡ください。

- (1) 型式
- (2) 製造ロット番号
- (3) 不具合の内容、配線図等

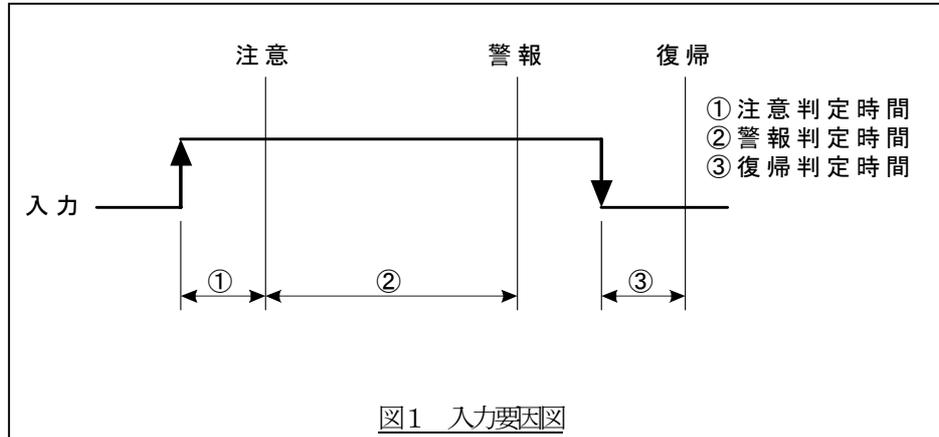
目次

取扱説明書変更履歴	2
1 設定ソフト概要	7
2 動作環境	7
3 セットアップ	8
4 アンインストール	8
5 れんら君にメール設定をする前の準備	9
5-1 メールエディターでメールを作成する。	9
5-1-1 メッセージの送信者と宛先のメールアドレスを登録します。	9
5-1-2 れんら君に登録するメールを作成します。	11
5-2 ルーターの設定を確認する。	13
6 画面	14
6-1 れんら君設定ソフト画面	14
6-2 メニューバーの構成と機能	16
6-2-1 れんら君の状態を取得する。	17
6-2-2 エンコード形式を指定する。	17
7 設定	18
7-1 れんら君を設定する。	18
7-2 れんら君の設定を保存、読出をする。	26
8 メール登録における追加事項	27
8-1 入力名の設定	27
8-2 【注意メール】，【警報メール】，【復帰メール】間でメールを移動する。	28
8-3 設定情報のコピーアンドペースト	29
8-4 メールエディター	30
8-5 キー操作、又は、ポップアップメニューでメールを登録する	36
9 セキュリティ	37
9-1 管理者権限認証	37
9-2 自動設定モード	39
10 コマンドメール機能	40
10-1 コマンドメール機能について	40
10-2 コマンドメールの作成方法	41

10-2-1	コメントメールのフォーマット	41
10-3	コメント説明	43
10-4	エラーメッセージ	47
11	設定項目一覧・設定チェックシート	48
11-1	設定項目一覧	49
11-2	設定チェックシート	50
11-2-1	れんら君ネットワーク設定	50
11-2-2	れんら君 I D 設定	52
11-2-3	Mail 送信設定	53
11-2-4	Mail 受信設定	55
11-2-5	コメントメール設定	56
11-2-6	システム設定	57
11-2-7	入力要因設定	58
11-2-7	(a) 入力 0 要因設定	58
11-2-7	(b) 入力 1 要因設定	62
11-2-7	(c) 入力 2 要因設定	66
11-2-7	(d) 入力 3 要因設定	70
11-2-7	(e) 入力 4 要因設定	74
11-2-7	(f) 入力 5 要因設定	78
11-2-7	(g) 入力 6 要因設定	82
11-2-7	(h) 入力 7 要因設定	86
12	れんら君に接続できないときには	90
12-1	症状別チェックリスト	90
12-2	トラブルシューティング	91

1 設定ソフト概要

- れんら君は、外部入力を3段階の入力要因【注意】、【警報】、【復帰】に分けて、メールの送信【通知メール】を行います。
入力点数は8点で、1点毎に【注意】、【警報】、【復帰】時にそれぞれ、通知メールを行います。



- 本設定ソフトは、れんら君の通知メールの設定を行います。
- 本設定ソフトを使用すると、Ethernet を経由してパソコンから通知メールの設定やれんら君の設定内容の参照、及び、更新が可能になります。

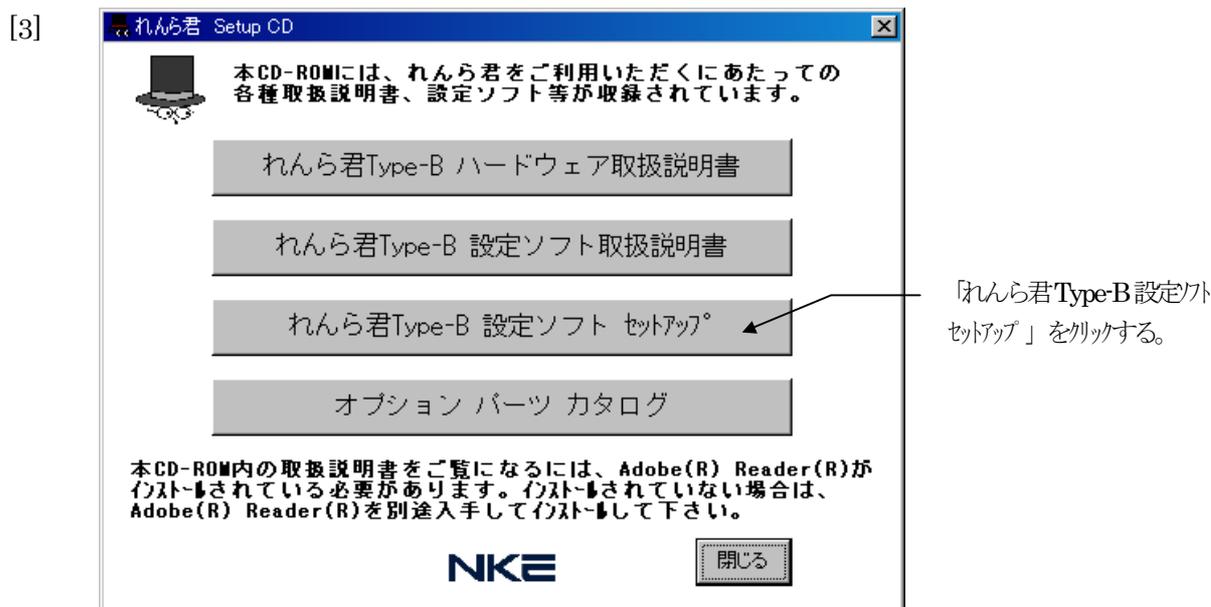
2 動作環境

OS	Microsoft® Windows 2000 Microsoft® Windows XP
HDD	20MB 以上の空き容量
CD-ROM	標準以上
LAN カード	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠の 10BASE-T、100BASE-TX に対応しているもの
動作確認済み メールソフト	Outlook Express 5.5 /6.0、Outlook、Eudora6.0、ShurikenPro3 AL-Mail32、Becky! Internet Mail 等です その他のメールソフトについては弊社にお問い合わせください。

注意:本設定ソフトは、れんら君とのデータ通信にポート69, 9998, 30719 の番号を使用します。
ファイアウォール等のセキュリティ設定で上記のポートの使用に制限をかけると正常に動作しなくなりますので、上記のポート番号は使用可能になるように設定してください。

3 セットアップ

- [1] 添付されているセットアップ CD をパソコンの CDドライブにセットします。
- [2] しばらくすると、SETUP CD 画面が立ち上がります。画面が立ち上がらないときは、マイコンピュータから CD の中を見ていただき、その中の Autorun.exe をダブルクリックして SETUP CD 画面を立ち上げてください。



- [4] インストーラが起動しますので「OK」をクリックします。

- [5] ティルトリに問題が無ければ  をクリックします。

- [6] プログラムグループに問題が無ければ「継続」をクリックします。

- [7] 「れんら君 Type-B 設定ソフト Version___のセットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。（___の部分にはバージョン番号によって異なります）

以上でれんら君設定ソフトのセットアップは終了です。

4 アンインストール

【コントロールパネル】 → 【プログラムの追加と削除】 の 【プログラムの変更と削除(H)】 の一覧から「れんら君 Type-B 設定ソフト」を選択した後、【変更と削除】ボタンをクリックしてください。（上記は Windows XP の場合です。）

5 れんら君にメール設定をする前の準備

5-1 メールエディターでメールを作成する。

れんら君が出力するメールを設定ソフトに添付のメールエディターでメールを作成します。

5-1-1 メッセージの送信者と宛先のメールアドレスを登録します。

メールエディターは、メールソフトのアドレス帳からメールアドレスを参照できません。メールエディターでメールの送信者、宛先を設定する場合は、メールアドレスを登録して下さい。

[1] れんら君 Type-B 設定ソフトを起動します。

[2] 「メールの作成」ボタンをクリックするとメールエディターが起動します。



「送信者」ボタン、又は、「宛先」ボタンをクリックすると「アドレス帳から選択する」画面を表示します。

[3]



「新規」ボタンをクリックしますと「新規登録」画面が表示されます。

[4]



表示名とメールアドレスを入力して、「OK」ボタンをクリックします。

[5]

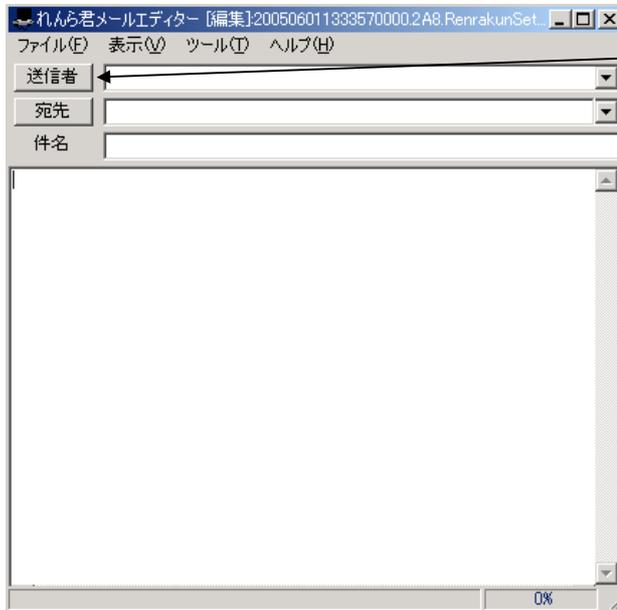


これでメールアドレスの登録は終了しました。
複数のメールアドレスを登録する場合は、操作を繰り返してください。

5-1-2 れんら君に登録するメールを作成します。

[1] れんら君 Type-B 設定ソフトを起動します。

[2] 「メールの作成」 ボタンをクリックするとメールエディターが起動します。



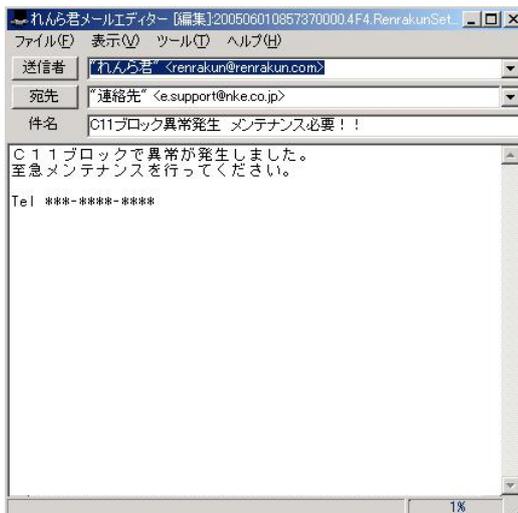
「送信者」ボタン、又は、「宛先」ボタンをクリックしますと「アドレス帳から選択する」画面を表示します。

[3]



メッセージの送信者と受信者を選択して、「閉じる」ボタンをクリックします。

[4]

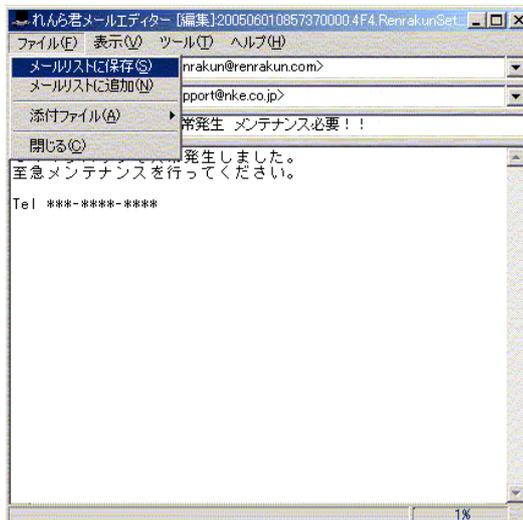


任意の件名と本文を入力します。
エクスプローラーなどからドラッグアンドドロップで
ファイルを添付できます。

画面右下に編集中のメッセージの容量と
れんら君に登録できる一通あたりのメールサイズ
で割った比率が表示されています。

**100%未満になるようにメッセージを編集してく
ださい。**

[5]



ファイル(F)→メールリストに保存(S)をクリックしてください。
編集内容をファイル保存後に設定ソフトに登録されま
す。登録後、メールエディターを終了して、設定ソフトに戻
ります。

ファイル(F)→閉じる(C)、または、をクリックすると
編集内容の保存を行わずにメールエディターを終了し
て、設定ソフトに戻ります。

複数のメールを作成する場合は、いままでの操作を
繰り返して下さい。

5-2 ルーターの設定を確認する。

れんら君はインターネットアクセラターに接続することによってメールの送受信が行えるようになります。そこでインターネットアクセラターに接続するための情報を確認します。確認する情報は、デフォルトゲートウェイとDNSアドレスになります。

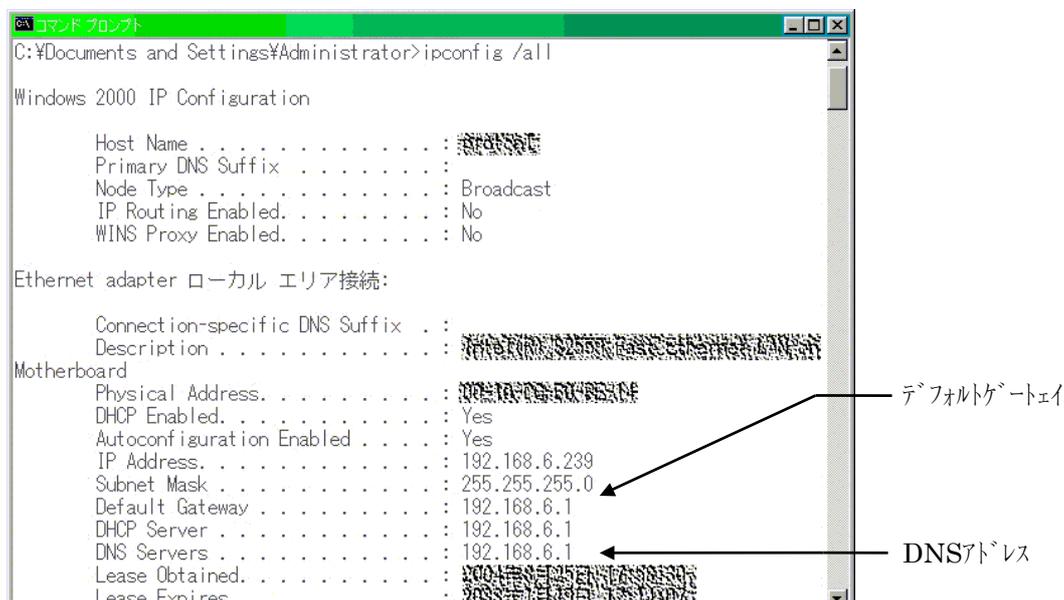
OSによって、確認の仕方が異なるため、それぞれの方法を参照ください。なお、情報を確認するためには、以下の方法を実行するパソコンが実運用時のれんら君と同じLAN上に接続されていて、尚且つ、メールの送受信を正常に行えるパソコンでなければなりません。

お使いになられているインターネットアクセラターのデフォルトゲートウェイ、DNSアドレスをご存じの方はこの章を読み飛ばしてください。

[1] Windows2000,Windows XP のとき

コマンドプロンプトを起動させます。コマンドプロンプトは「スタート」→「プログラム」→「アクセラ」の中にあります。

「ipconfig /all」を入力してください。下図のようになり、矢印部分がデフォルトゲートウェイおよびDNSアドレスになります。（ / は半角スペースです。）



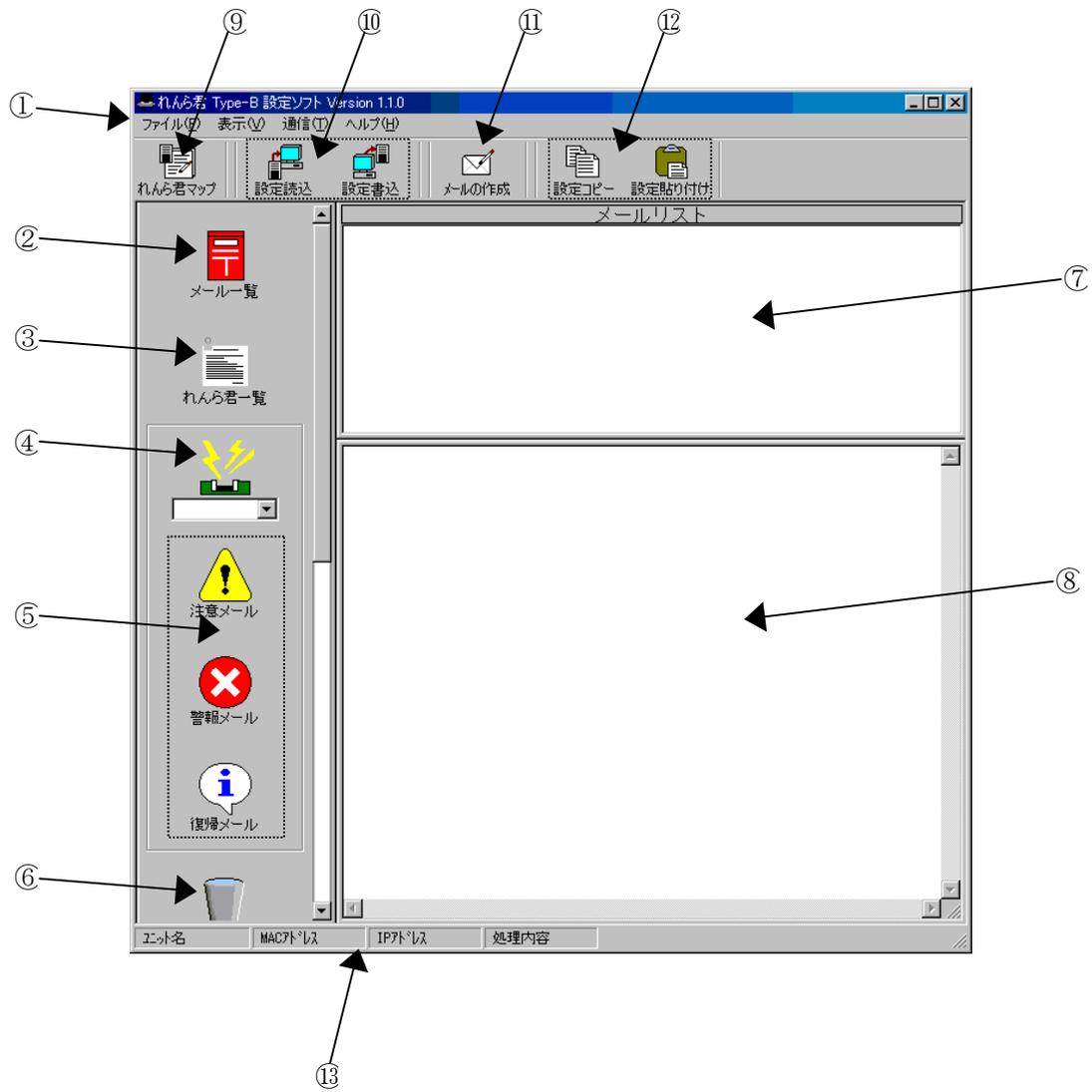
表示例は

デフォルトゲートウェイ	192.168.6.1
DNSアドレス	192.168.6.1

になります。

6 画面

6-1 れんら君設定ソフト画面



れんら君設定ツツ画面の各項目の意味について

- ① **【メニューバー】** 各種メニューを実行します。
(メニューバーについて詳細は、後述の 6-2 項を参照下さい)
- ② **【メール一覧】** 通知メールに登録するためのメールを格納しています。
- ③ **【れんら君一覧】** 設定ツツに登録されているれんら君を一覧表示します。
- ④ **【入力 0】～【入力 7】** それぞれの入力の⑤に設定されている通知メールを⑦に一覧表示します。また、⑤に登録する通知メールは、④の**【注意】**、**【警報】**、**【復帰】**の通知メールとして登録されます。
プルダウンメニューで**【入力 0】～【入力 7】**が切り替わります。
- ⑤ **【通知メール】**
- ・ **【注意メール】** 入力要因**【注意】**時に送信する通知メールを格納しています。
 - ・ **【警報メール】** 入力要因**【警報】**時に送信する通知メールを格納しています。
 - ・ **【復帰メール】** 入力要因**【復帰】**時に送信する通知メールを格納しています。
- ⑥ **【ごみ箱】** 通知メールの登録解除、又は、メールの削除をします。
また、「れんら君一覧」かられんら君の登録を削除します。
- ②～⑤は、機能毎のメールボックスです。各メールボックスをクリックすると水色に反転して選択状態になります。選択状態であるメールボックスの内容が⑦に表示（⑥は除く）されます。
⑦からメールを選択して、ドラッグアンドドロップで「通知メールの登録」、「メール削除、通知メールの登録解除」等の操作が行えます。
- ⑦ **【登録内容表示】** 登録内容を表示します。②のメール一覧を選択時は設定ツツに登録されているメールの一覧を、③のれんら君一覧を選択時は設定ツツに登録されているれんら君を一覧表示します。
- ⑧ **【詳細表示】** 詳細内容を表示します。②のメール一覧を選択時はメール内容を、③のれんら君一覧を選択時は⑦で選択しているれんら君の設定を表示します。ただし、メール内容表示はテキスト形式のメールのみ表示します。
HTML形式のメールは正常に表示できません。
- ⑨ **【れんら君マップツールバー】**
- ・ **【れんら君マップ】** LANにつながっているれんら君を探して設定ツツに登録します。
- ⑩ **【れんら君設定ツールバー】**
- ・ **【設定読込】** 指定したれんら君の設定を読み込みます。
 - ・ **【設定書込】** 指定したれんら君に設定を書き込みます。
- ⑪ **【メール作成ツールバー】**
- ・ **【メールの作成】** 付属のメールエディターでメールを作成して、②に追加します。
- ⑫ **【設定編集ツールバー】**
- ・ **【設定コピー】** 指定したれんら君の設定をパソコンのクリップボードにコピーします。
 - ・ **【設定貼り付け】** パソコンのクリップボードにコピーされているれんら君の設定を指定したれんら君にコピーします。
- ⑬ **【ステータスバー】** ③のれんら君一覧を選択時に⑦の一覧からクリックで選択したれんら君のエット名、IPアドレス名、MACアドレス名と設定ツツが実行した処理内容を表示します。

6-2 メニューバーの構成と機能



名称1	名称2	ショートキー	説明
ファイル(F)	メールの作成(N)...		新規メールを作成します。
	メールの編集(E)...		選択したメールを編集します。
	メールのコピー(C)		選択したメールのコピーをします。
	メールの削除(D)		選択したメールを削除します。
	終了(X)		本ソフトを終了します。
表示(V)	文字セット(C)		メールのエンコード形式を指定します。
通信(T)	れんら君マップ (M)	F5	れんら君マップを実行します。
	設定読込(R)	F6	設定読込を実行します。
	設定書込(W)	F7	設定書込を実行します。
	ステータス(S)...	F8	れんら君の状態を取得します。
ヘルプ(H)	バージョン情報(A)...		本ソフトのサポート情報を表示します。

6-2-1 れんら君の状態を取得する。

れんら君の状態と入力接点の ON/OFF を問い合わせます。れんら君リストから状態を確認するれんら君を選択後にメニューの通信(T)→ステータス(S)...をクリックで実行します。
(れんら君リストについて詳細は、後述の 7-1 項の[3]を参照ください)

装置：[動作中][設定中][装置異常]
れんら君の状態を表示します。

入力監視：[監視中][停止中][異常]
入力の監視動作の状態を表示します。

通知メール：[動作中][送信リトライ中][送信異常]
メールによる通知機能の状態を表示します。

コマンドメール：[動作中][送信リトライ中][送信異常]
[受信リトライ中][受信異常]
メールによる制御機能の状態を表示します。

入力 0～7：[ON][OFF]
入力接点の状態を表示します。

出力 0～7：[ON][OFF]
出力接点の状態を表示します。

状態 0～7：[通常][注意][警報][不感]
入力で遷移するモード状態を表示します。

6-2-2 エンコード形式を指定する。

メールのプレビュー表示が文字化けする場合は、エンコード形式の指定を変更してください。
表示(V)→文字セット(C)でエンコード形式を指定できます。以下のエンコード形式を選択できます。
(メールのプレビュー表示について詳細は、後述の 7-2 項の[3]を参照ください)

日本語 (ISO-2022-JP)	Unicode (UTF-8)
日本語 (ShiftJIS)	Unicode (UTF-7)
日本語 (EUC-JP)	

7 設定

7-1 れんら君を設定する。

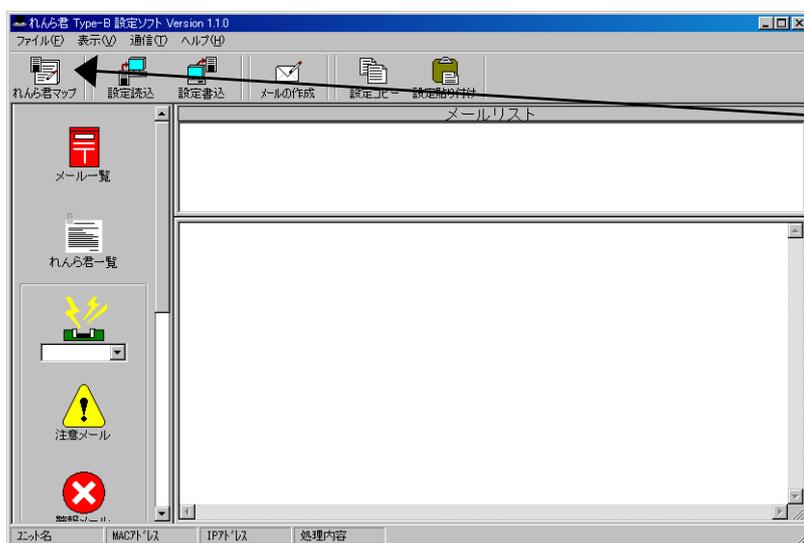
[1] れんら君 Type-B 設定ソフトを起動します。

(「スタート」→「プログラム」→「れんら君 Type-B 設定ソフト」→「れんら君 Type-B 設定ソフト」)

<注意>

WindowsXP SP2 において、れんら君設定ソフトを起動すると「このプログラムをブロックし続けますか?」と聞かれます。このとき、「ブロックを解除する」をクリックしてください。

[2] れんら君設定ソフトにれんら君を登録します。



「れんら君マップ」をクリックします。すると、LAN につながっているれんら君を探して設定ソフトに登録します。

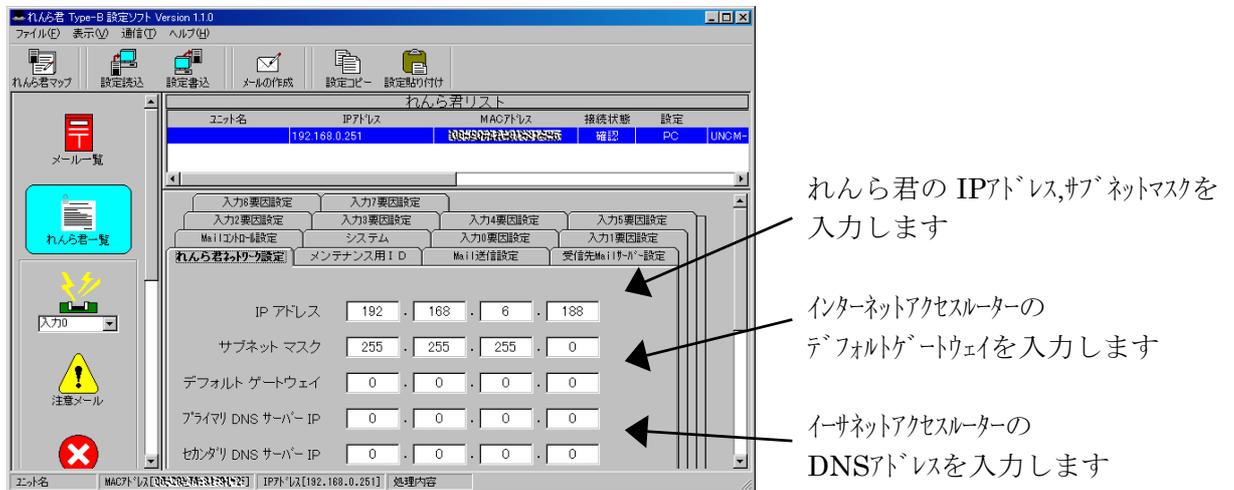
れんら君設定ソフトで新規に接続が確認できたれんら君があれば、

「以下のれんら君に対して設定読込を行ってください」とメッセージが出てきます。

MACアドレスを確認の上、設定読込を実行してください。

(設定読込の実行について詳細は、後述の 7-3 項を参照ください)

[3] れんら君リストの中から設定したいれんら君を選びクリックするとれんら君設定情報画面に切り替わります。れんら君ネットワーク設定タブをクリックして、れんら君の IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、DNSアドレスを設定します。



れんら君リストには次の情報が表示されます。

ユニット名	れんら君のユニット名です。Mailコントロール設定タブで設定したユニット名が表示されます。
IPアドレス	れんら君の IPアドレスです。
MACアドレス	れんら君の MACアドレスです。
接続状態	れんら君マップボタンをクリックしたときで新たに発見したれんら君は”新規”一度設定して、その設定データがパソコンに保存されているとき”確認”設定データがパソコンに保存されているが現在接続されていないとき”切断”と表示されます。
設定	該当のれんら君の設定データがパソコンに保存されていたら”PC”設定読み込みボタンをクリックして現在接続中のれんら君の設定データを読み込んでいたら”れんら君”と表示されます。
製品名	れんら君の製品名 (型式)
バージョン	れんら君の組み込みソフトのバージョンを表示します。

[4] 他のタブも下図のように入力します。



任意のキーで編集タブ「イロ」が表示されます

変更後のRootパスワードを入力して下さい

パスワード: ****

パスワードを記憶する

OK キャンセル

①rootパスワードを入力する
大文字、小文字を区別します。

②OK をクリック

変更後のRootパスワードを再度入力して下さい

パスワード: ****

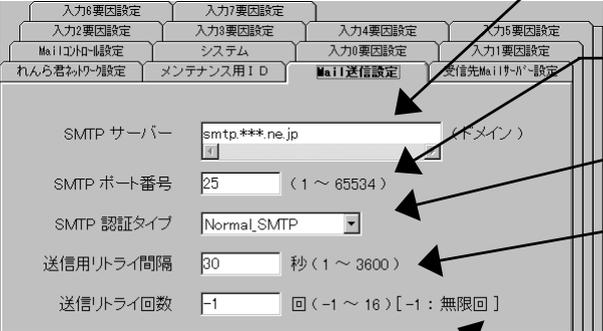
パスワードを記憶する

確認 取消

③①を再入力する

④確認をクリック

Rootパスワードの設定値は、必ず控えをとって下さい。



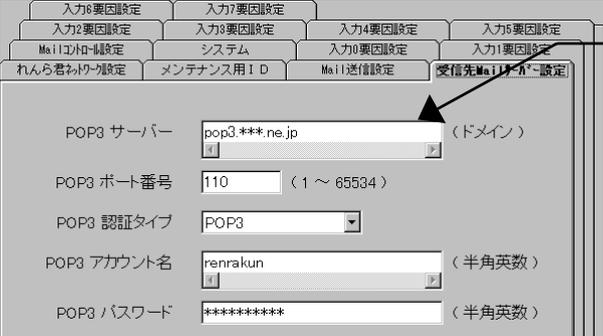
プロバイダーから与えられたSMTPサーバーを入力します。

通常は「25」です。

通常は「Normal SMTP」です。

送信エラーから次に送信動作をするまでの間隔を入力します。

リトライを繰り返す回数の設定です。
- 1 回の場合、回数制限なくリトライを繰り返します。



プロバイダーから与えられたPOP3サーバー
メールアドレス
パスワード
を入力します。
POP3ポートは通常「110」です。

任意な名前とパスワードを半角英数で入力して下さい。

問い合わせ間隔はれんら君がメール受信をする時間間隔です。
0分の場合は、問い合わせをしません。コマンドメールを使用する場合は1分以上の値を設定してください。

プロバイダから与えられたE-mailアドレスを入力してください。

ユニット名について

ユニット名は、それぞれのれんら君に固有の名前にしてください。
れんら君設定ソフトから複数のれんら君を管理するとき判別するのに便利です。
また、コマンドメール機能を使用するとき、ユニット名称が、メール返信元名となります。
1つのメールアドレスを複数のれんら君に使用するときメール返信元を判別するのに便利です。

(コマンドメールについての詳細は、後述の10章を参照ください。)

れんら君マップで検出されないように存在を隠す場合にチェックをつけます。
これを設定した後、れんら君の設定記録情報を削除すると設定変更ができなくなるので注意してください。

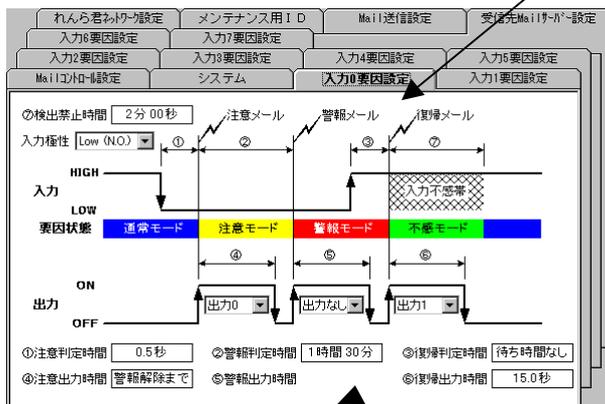
設定更新時にれんら君が自動で設定モードになることを禁止する場合は、チェックをつけます。
この場合は、手動で設定モードに切り替えなければ、れんら君の設定は更新されません。

入力監視停止時に、実行されている出力処理をクリアせず継続させる場合にチェックをつけます。
デフォルトは出力クリアですが、その場合でもコマンドメールによる出力は実行されます。

システム制御について

通常は設定する必要はありません。主に匿名のれんら君に対する問い合わせや設定の更新などの遠隔操作に制限を設けます。制限を設けることでセキュリティの向上を図れます。

(システム制御についての詳細は、後述の9-2項を参照ください。)



クリック、又は、任意のキー押下で編集がイロクを表示します

入力0警報判定時間

設定範囲 10時間00分 ~ 238時間59分 ← 判定時間の範囲選択

判定時間 1 時間 30 分 ← 判定時間を入力します

OK キャンセル

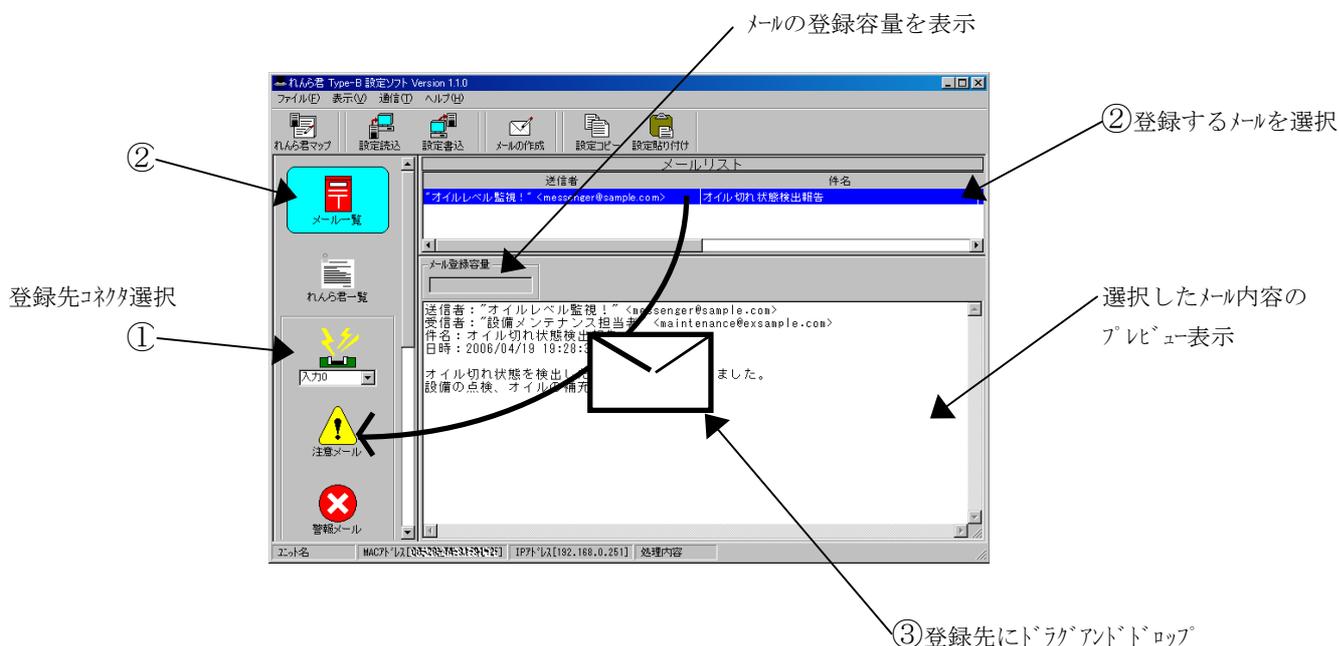
[OK]ボタンをクリック、又は、[Enter]キーを押してください。
 編集を破棄する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック、又は、
 [Esc]キーを押して下さい。

[5] メールリストから、メール登録操作を行います。
登録にあたり、メール件数、メール容量に制限があります。

- (1) メール件数の制限（各要因に対し 6 件まで）
【入力 0】～【入力 7】の【注意メール】、【警報メール】、【復帰メール】にそれぞれ、0～6 件までの通知メールを登録できます。
- (2) メールサイズの制限（総容量 約 380KB）
1 通のメールサイズの最大容量は 64KB までです。

メール登録操作は、以下の手順で行います。

- ①登録先コネクタを選択する
登録先の入力コネクタ【入力 0】～【入力 7】をプルダウンメニューで選択します。
- ②メールリストから登録するメールを選択する
左列の【メール一覧】をクリックし、メールリストから、登録するメールを選択します。
選択されたメールは反転表示され、メールの内容が【詳細表示】画面にプレビュー表示されます。
- ③メールを登録先にドラッグアンドドロップする
選択したメールの登録先(左列の【注意メール】、【警報メール】、【復帰メール】)にドラッグアンドドロップすることにより、通知メールの登録準備ができます。



【メール一覧】、【注意メール】、【警報メール】、【復帰メール】をクリック、
または、登録先コネクタを選択した際にメールリストの下にインジケータが表示されます。
これは、メール総容量に対して現在登録されているメールの容量がどのくらいあるのか
を示しています。
これを参考にメール容量の制限に注意してメール登録してください。

[6] 登録した通知メールの内容確認や、誤って登録した通知メールの削除を行います。

【注意メール】，【警報メール】，【復帰メール】として登録したメールの内容の確認や、削除を行うことができます。

・登録した通知メールの内容確認は、以下の手順で行います。

①登録先コネクタを選択する

登録先の入力コネクタ【入力0】～【入力7】をプルダウンメニューで選択します。

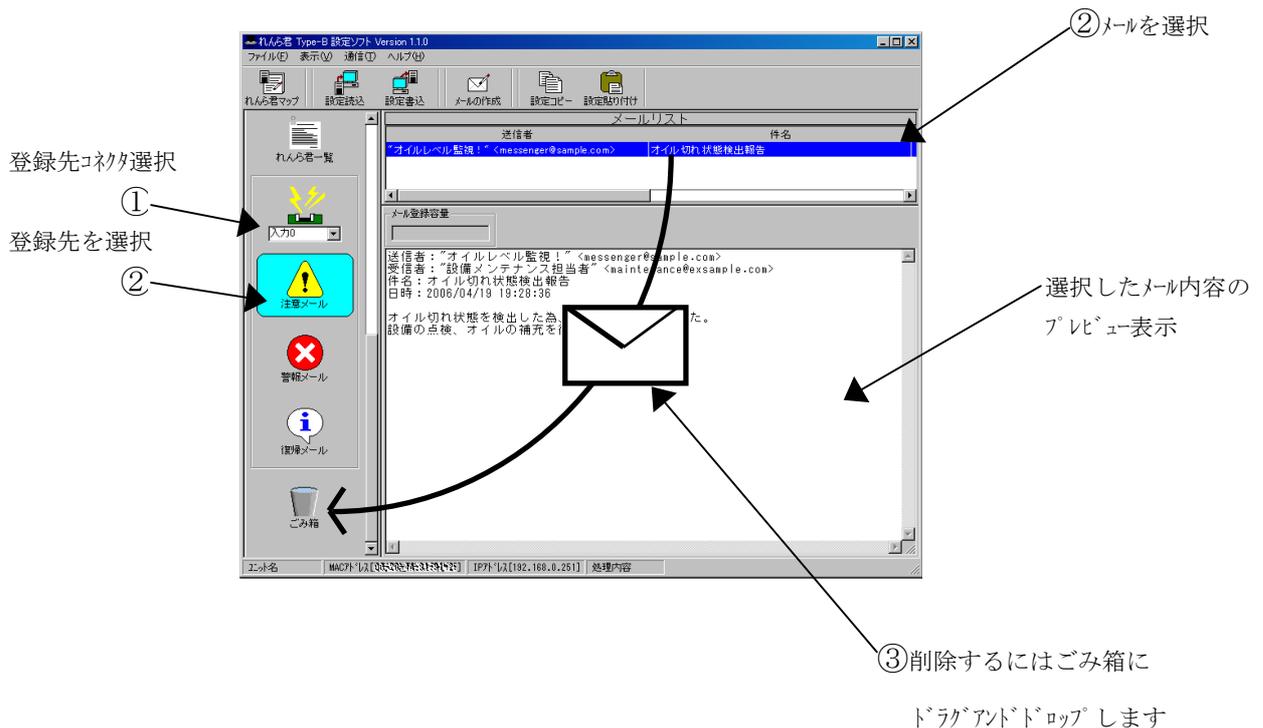
②登録先を選択する

左列の【注意メール】，【警報メール】，【復帰メール】を選択すると、メールリストに登録されているメールが表示されます。

メールリストにあるメールを選択すると、選択されたメールは反転表示され、メールの内容が【詳細表示画面】にプレビュー表示されます。

・登録した通知メールを削除するには、メールリストに表示されたメールを選択し、ごみ箱にドラッグアンドドロップします。

ごみ箱にドラッグアンドドロップしたメールは、完全に削除されます。



[7]設定をれんら君に保存します

設定が終われば、「設定書込」をクリックしてください。設定をれんら君に保存して、メールの登録を行います。れんら君にメールが転送され、れんら君にメールの登録が完了します。

(設定書込の実行ついて詳細は、後述の 7-2 項を参照ください)

れんら君に設定の保存が完了すれば「正常に終了しました。」と表示が出てきます。

以上で、れんら君の設定は完了しました。動作を確認の上、れんら君をご使用ください。

7-2 れんら君の設定を保存、読出をする。

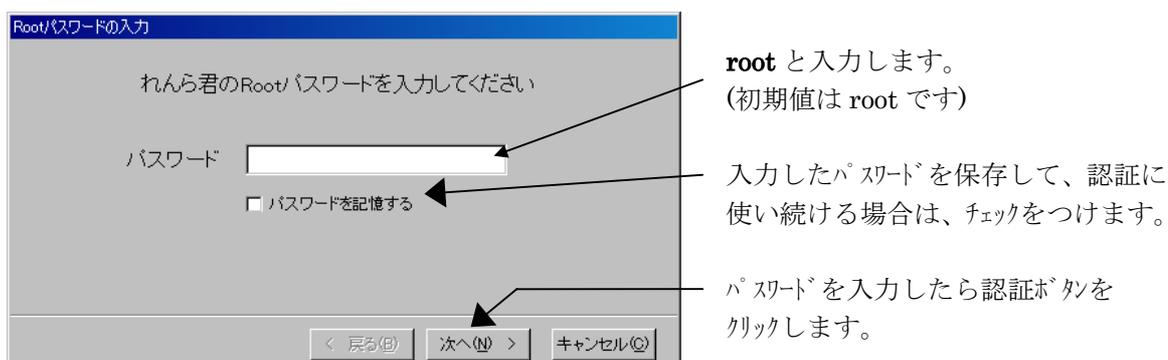
[1] れんら君リストかられんら君を選びクリックする
(れんら君リストについては 7-1 項の[3]を参照下さい)

[2] 「設定読込」、「設定書込」のいずれか一つをクリックして下さい

[3] れんら君と通信できるネットワーク環境にご使用のパソコンを設定します。ご使用のパソコンがれんら君と通信できなければ、接続ウザードが表示されます。画面の指示に従って、ネットワーク環境を設定して下さい。れんら君と通信できる設定であれば、接続ウザードが表示されずに Root パスワード入力ダイアログが表示されます。[4]へ進みます。

<注意> ご使用のパソコンのネットワーク環境を設定した場合、れんら君の設定後にネットワーク環境を変更前に戻して下さい。ネットワーク環境を戻さなければインターネット、メールなどのサービスが利用できない可能性があります。

[4] Rootパスワードを入力する



<注意> Rootパスワードダイアログは、「設定読込」、「設定書込」等をクリックした場合に表示され、Rootパスワードの入力を行います。

(Rootパスワードについて詳細は、後述の 9-1 項を参照下さい)

<注意> れんら君の設定を保存するときに再起動して、STAT LED が点滅します。このとき、READYリレー接点は閉となります。

(READYリレー接点について詳細は、ハードウェアマニュアルを参照下さい)

- ・ 「れんら君が設定モードで起動していません。」が表示された場合は、以下の手順に従って、れんら君を再起動して下さい。再起動後、[2]からやり直します。

- ① れんら君の電源を切ります。
- ② シャープペンシルの先などでれんら君の後背面の設定スイッチを押しながら、れんら君に電源を入れます。
- ③ 約 10 秒押しつづけければ、STAT LED が点滅し設定モードでれんら君が起動します。
- ④ 設定スイッチを押すのを止めます。
- ⑤ [2]からやり直して下さい。

8 メール登録における追加事項

8-1 入力名の設定

れんら君では入力名のことを基本的に「入力0」～「入力7」と呼びますが、それぞれをどのように使い分けているのかをれんら君設定ソフト上で見分けやすく出来るように入力名にラベルをつける事が出来ます。

- ①入力アイコンをクリックしてプルダウンメニューを表示する
- ②入力名を選択して反転状態にする

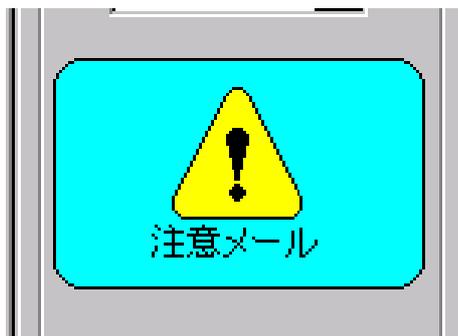


- ③入力名を入力してから、[Enter]キーで決定する

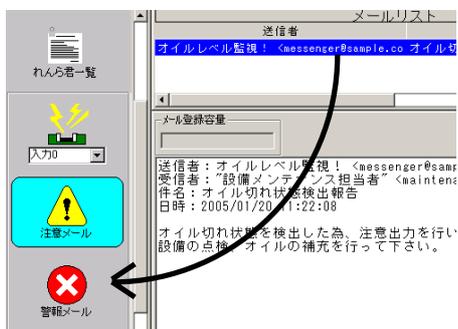


- ④入力アイコンに変更後の入力名が設定されます
(れんら君の動作に直接関係しません。入力名はれんら君設定ソフト上での識別用に設定します)

8-2 【注意メール】，【警報メール】，【復帰メール】間でメールを移動する。



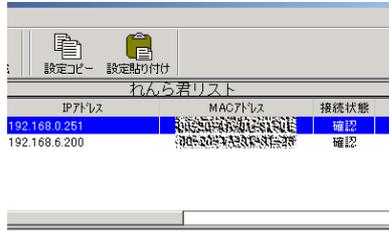
① 【注意メール】アイコン(移動元)をクリックする



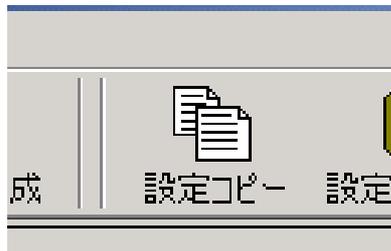
② メールリストのメールを【警報メール】（移動先）にドラッグアンドドロップする

8-3 設定情報のコピーアンドペースト

設定データをコピーアンドペーストで貼り付けることができます。複数のれんら君を設定するとき、一度設定したデータを利用して他のれんら君の設定データを作成するときに便利です。



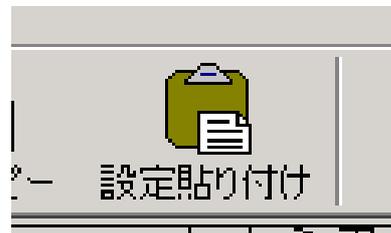
①れんら君リストからコピー元のれんら君をクリックします



②設定コピーをクリックします



③れんら君リストからコピー先のれんら君をクリックします

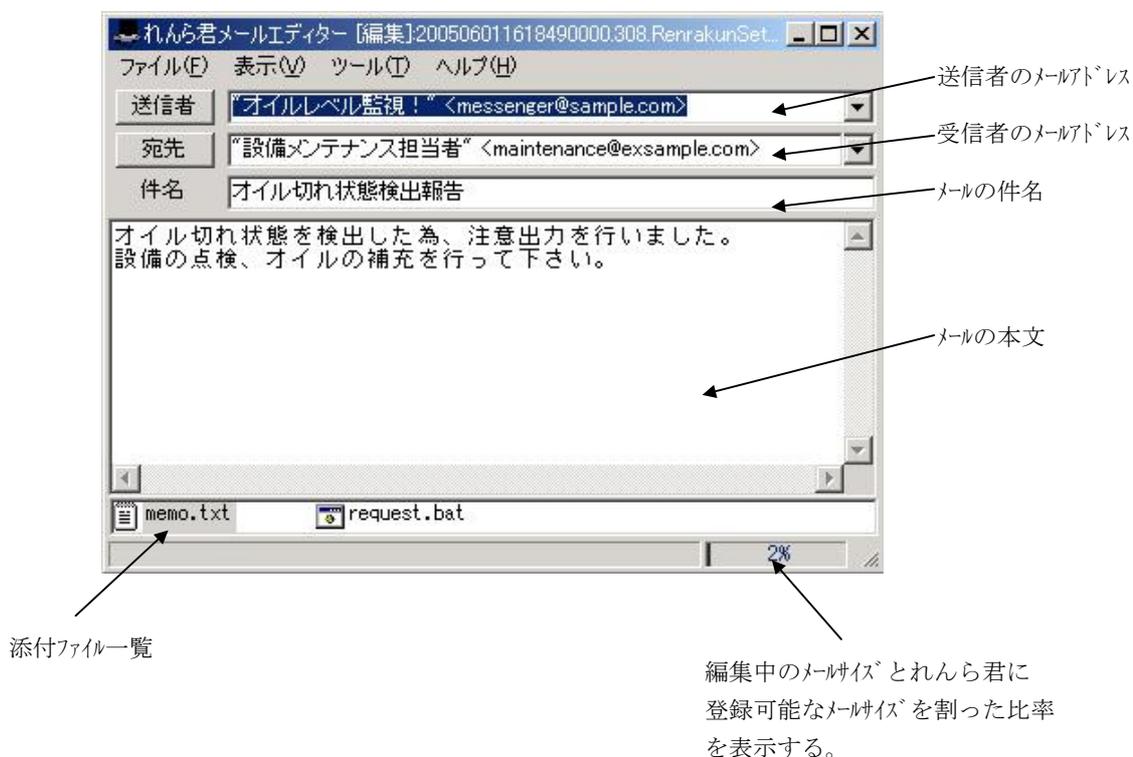


④設定貼り付けをクリックします

設定ソフト上での設定内容のコピーになりますので「設定書込」でれんら君に設定を保存してください。

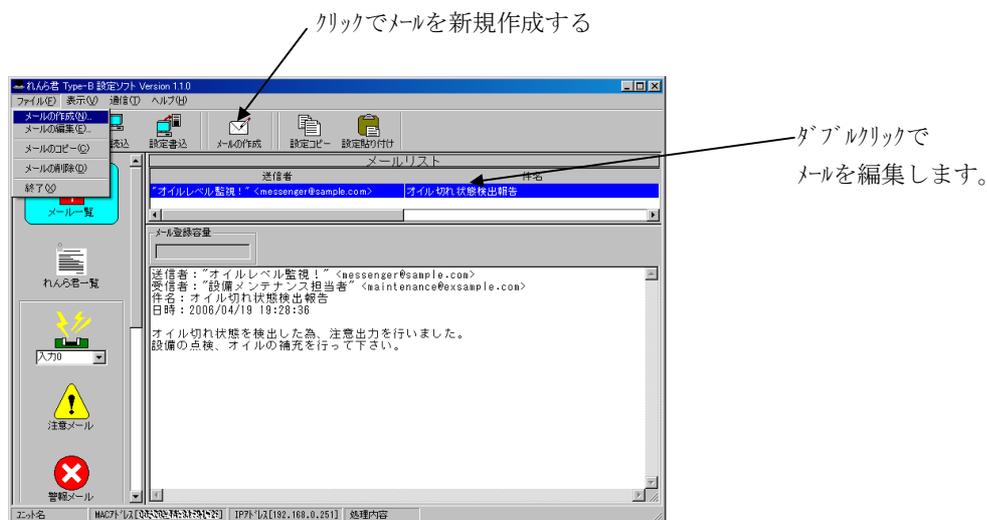
8-4 メールエディター

れんら君で出力するメールの作成と設定ソフトに登録済みのメールの内容を編集できます。



[1] 設定ソフトからメールエディターを起動する

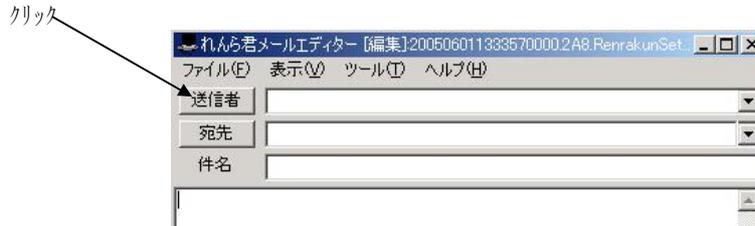
- メールエディターでメールを新規作成する
「メールの作成」ボタンをクリックします。または、**ファイル(F)**→**メールの作成(N)...**をクリックします。
- メールエディターで登録済みのメールを編集する
メールリストから編集対象のメールをダブルクリックします。または、メールリストから編集対象のメールを選択後に**ファイル(F)**→**メールの編集(E)...**をクリックします。



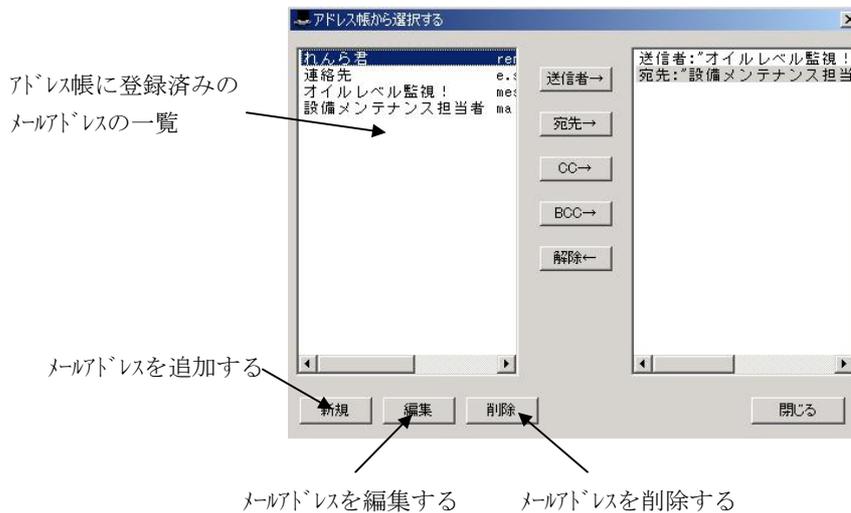
[2]送信者、宛先のメールアドレスを入力する

メールエディターのアドレス帳を参照して、送信者のメールアドレスと宛先のメールアドレスを入力します。
メールエディターのアドレス帳は、他のメールソフトからメールアドレスのインポート、エクスポートは行えません。
メールエディター用にメールアドレスをアドレス帳に追加してください。

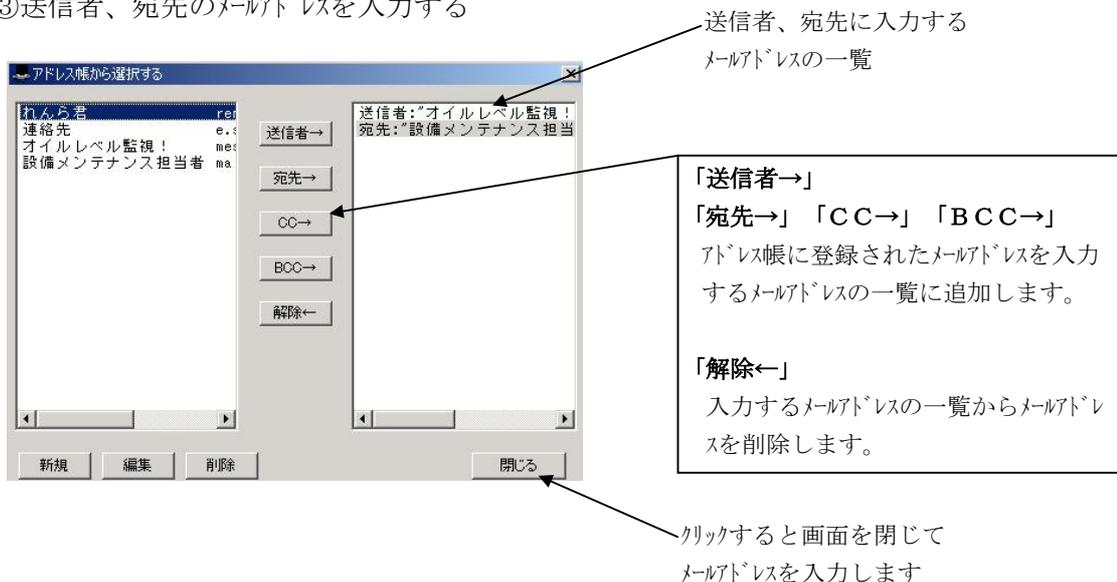
①アドレス帳を開きます。



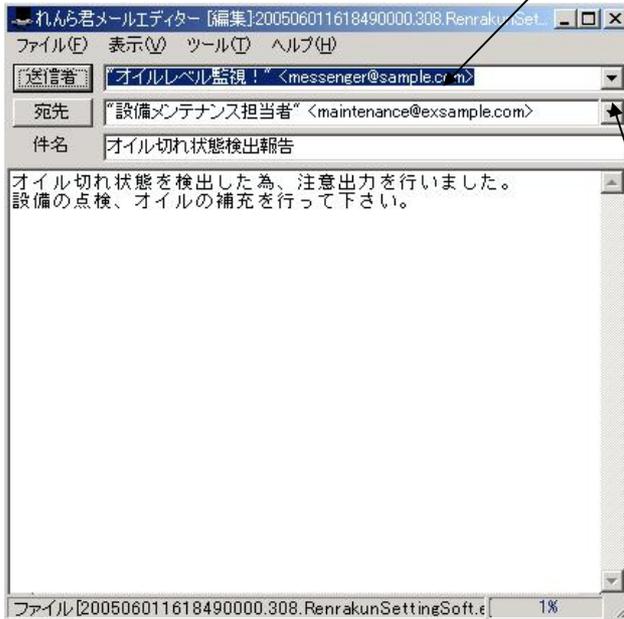
②アドレス帳を編集します。



③送信者、宛先のメールアドレスを入力する



- ・アドレス帳を使用しないで、送信者、宛先のメールアドレスを入力する



メールアドレスを直接入力する場合

宛先のメールアドレスを Cc ,または、 Bcc に指定する際は、メールアドレスの前に「**CC : (半角コロン)**」, 「**BCC : (半角コロン)**」を付け足して下さい。

メールアドレスとメールアドレスの間は、「**,**」(半角カンマ)で区切って下さい。

ex:)e.support@nke.co.jp,CC:messenger@example.com

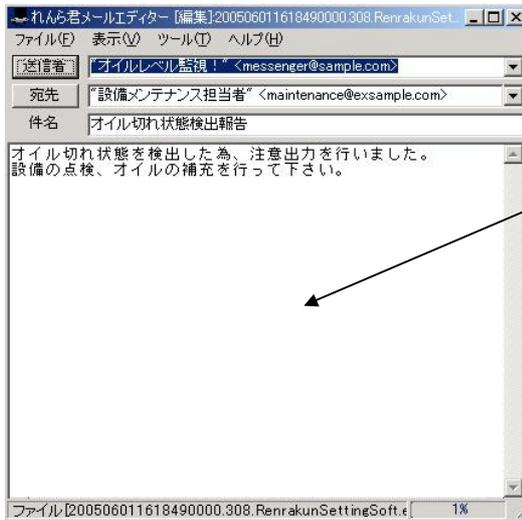
メールアドレスの入力履歴から選択する

 をクリックすると以前に入力されたメールアドレスの履歴が表示されます。リストからメールアドレスを選択すると挿入されます。

リストから複数のメールアドレスを入力する場合
メールアドレスとメールアドレスの間を「**,**」(半角カンマ)で区切って下さい。

[3]メールの文面を編集する

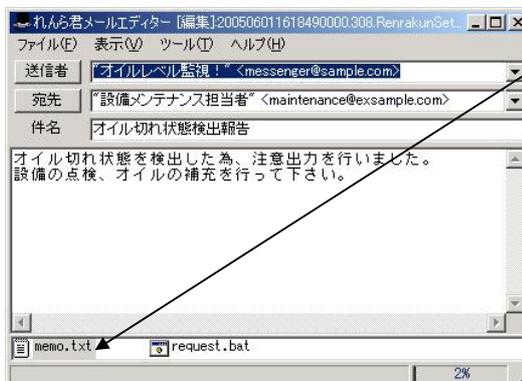
- ファイルを添付する



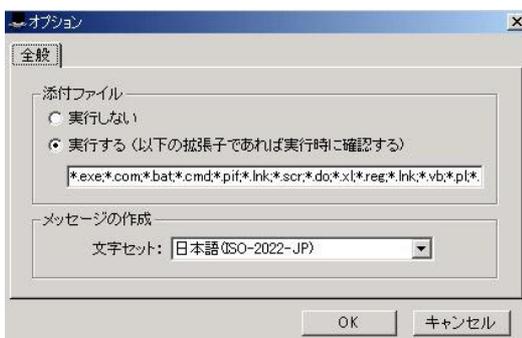
エクスプローラーなどからファイルをドラッグしてメールエディターにドロップします。または、**ファイル(F)→添付ファイル(A)→追加(A)...**でファイルの添付ダイアログから選択します。

- ファイルの内容を確認する

ファイルの種類から対応したアプリケーションが起動します。ファイルの内容が確認できます。**ツール(T)→オプション(O)...**からファイルの内容の確認操作を許可・不許可を切り替えることができます。さらに、ウイルスの可能性があるファイルの内容を確認することにメッセージで注意を促すことができます。



添付ファイル一覧からファイルをダブルクリックします。または、ファイルを選択後、**ファイル(F)→添付ファイル(A)→開く(O)...**をクリックします。右クリックで表示されるプルダウンメニューの開く(O)...)でも同じ操作が行えます。



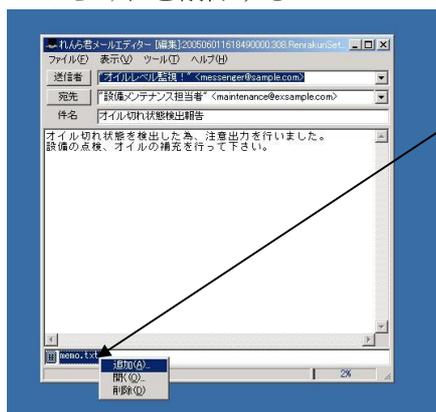
「実行しない」でファイル内容の確認を不許可にします。「実行する」を選択して、ウイルスの可能性があるファイルの拡張子を * (アスタリスク)、(半角ピリオド) ファイルの拡張子 ; (半角セミコロン) の書式で 入力します。

ex:) *.exe ; *.com ;

- ファイルをコピーする

添付ファイル一覧からコピー対象のファイルをドラッグして、エクスプローラーなどにドロップします。

・メールからファイルを削除する



添付ファイル一覧から削除対象のファイルをクリックで選択します。右クリックで表示するプルダウンメニューから削除(D)、または、ファイル(F)→添付ファイル(A)→削除(D)をクリックします。

<注意>文字の種類がメールデータに記述されていない場合に文字が化けが発生することがあります。表示(V)→文字コード(C)から既定の文字を設定して下さい。メールデータで対応している文字の種類は以下の通りです。

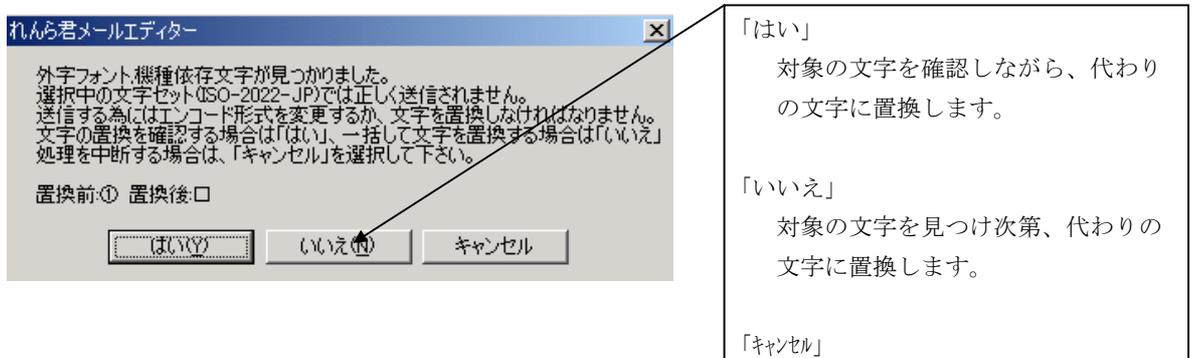
日本語 (ISO-2022-JP)	Unicode (UTF-8)
日本語 (ShiftJIS)	Unicode (UTF-7)
日本語 (EUC-JP)	

<注意>メールデータは、テキスト形式で本文を編集します。編集するメールの本文が html 形式などが混在していた場合にれんら君で出力されたメールが正しく表示できないことがあります。メールソフトの設定をテキスト形式の本文を表示するようにしてください。また、メールデータはハイパーテキストには対応していません。

[4]編集内容を保存する

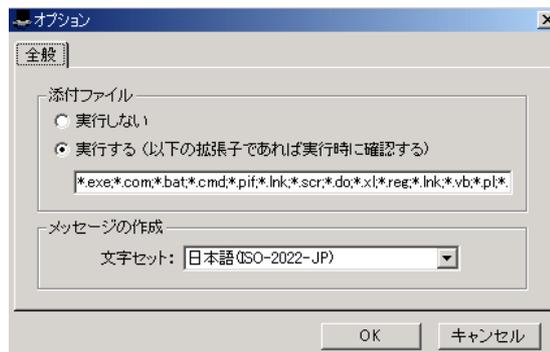
ファイル(F)→メールリストに保存(S)、または、ファイル(F)→メールリストに追加(N)で編集内容を保存します。

保存時に機種依存文字、外字フォントなどメールの受信先で正しく表示できない可能性がある文字を使用すると文字の置換が「何かが」表示されます。



・文字の種類を指定して保存する

ツール(T)→オプション(O)...をクリックします。「メッセージの作成」の文字セットのリストから保存するメールの文字の種類を選択します。「OK」をクリックしてから、メールを保存してください。



<注意>通知メールに登録されているメールを編集した場合、メールエディターを終了後に設定ソフトは通知メールの再登録処理を行います。編集後のメールが登録できなかった場合、れんら君の通知メールの登録が初期化されます。

8-5 キー操作、又は、ポップアップメニューでメールを登録する



[Up]キー押下、[Down]キー押下
メールの選択、又は、れんら君の選択を切り替える

[Enter]キー押下
メールの編集をする

[Delete]キー押下
メール、又は、れんら君の設定ファイルの削除

右クリックでポップアップメニューを表示します。ポップアップメニューで以下の操作が行えます。

名称 1	名称 2	名称 3	操作説明
メール登録(R)	入力 0	注意メール	入力 0 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 0 の警報メールに登録する
		復帰メール	入力 0 の復帰メールに登録する
	入力 1	注意メール	入力 1 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 1 の警報メールに登録する
		復帰メール	入力 1 の復帰メールに登録する
	入力 2	注意メール	入力 2 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 2 の警報メールに登録する
		復帰メール	入力 2 の復帰メールに登録する
	入力 3	注意メール	入力 3 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 3 の警報メールに登録する
		復帰メール	入力 3 の復帰メールに登録する
	入力 4	注意メール	入力 4 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 4 の警報メールに登録する
		復帰メール	入力 4 の復帰メールに登録する
	入力 5	注意メール	入力 5 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 5 の警報メールに登録する
		復帰メール	入力 5 の復帰メールに登録する
	入力 6	注意メール	入力 6 の注意メールに登録する
		警報メール	入力 6 の警報メールに登録する
		復帰メール	入力 6 の復帰メールに登録する
入力 7	注意メール	入力 7 の注意メールに登録する	
	警報メール	入力 7 の警報メールに登録する	
	復帰メール	入力 7 の復帰メールに登録する	
削除(D)			メール、又は、れんら君の設定ファイルを削除
解除(C)			メールを通知メールの登録から削除する

9 セキュリティ

ネットワークセキュリティとして、れんら君の設定を保存、読出の際に使用するパスワードと設定ソフトかられんら君への遠隔操作を制限する設定が行えます。

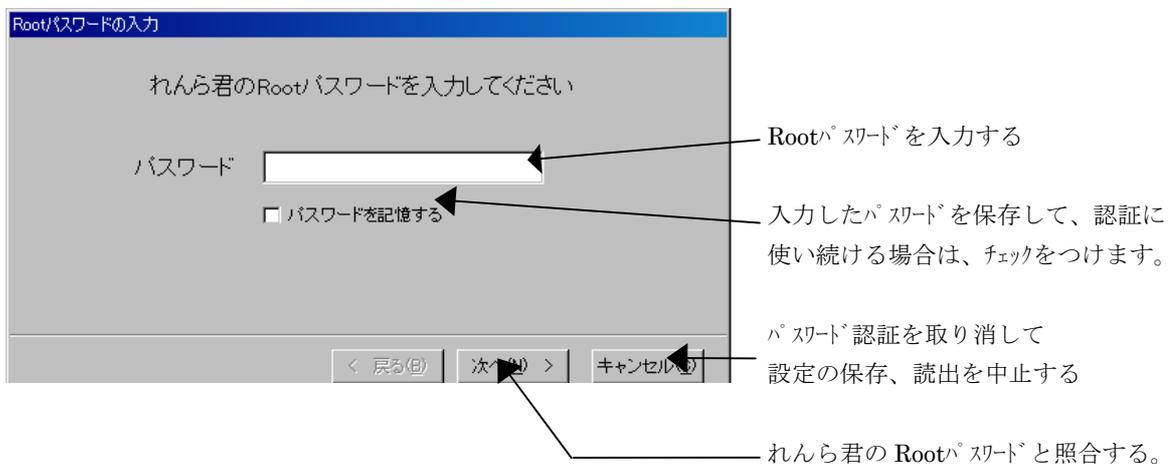
9-1 管理者権限認証

(1) 管理者権限認証について

設定ソフトから管理者権限を持つユーザーからの操作であることをれんら君に証明するためにRootパスワードの入力を行います。

(2) パスワード認証

「設定読込」、「設定書込」を実行するとRootパスワード入力ダイアログが表示されます。



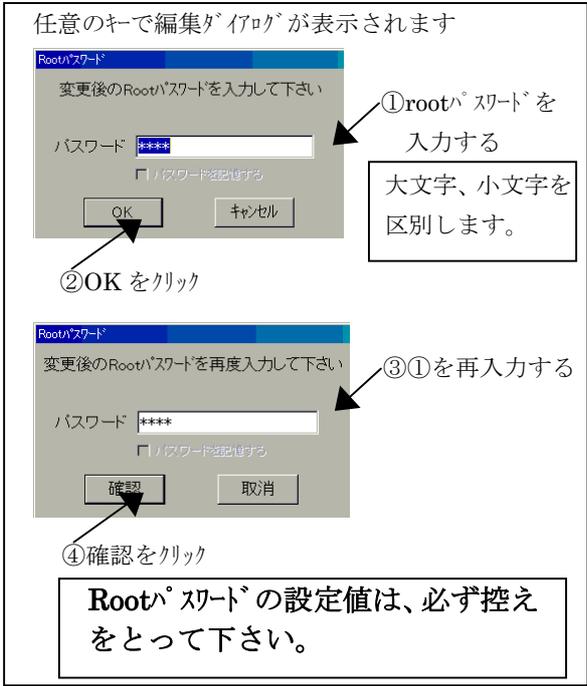
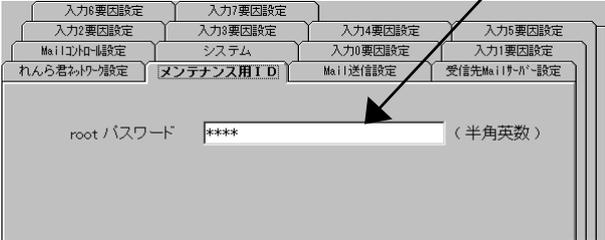
パスワード認証に成功すれば、れんら君に設定の保存、読出を行います。以降の設定の保存、読出を実行する際には、Rootパスワードの入力を省略します。

パスワードを省略できる期間は、設定ソフトを終了する迄の間ですが、「パスワードを記憶する」にチェックを付ければ、次回の起動時もパスワードの認証を省略できます。

(3) rootパスワードの変更

[1] 設定の[メンテナンス用ID]タブのRootパスワードを編集します。

(設定の編集フォームの表示について詳細は、前述 7-1 項を参照下さい)



任意のキーで編集ダイアログが表示されます

① rootパスワードを入力する
大文字、小文字を区別します。

② OK をクリック

③ ①を再入力する

④ 確認をクリック

Rootパスワードの設定値は、必ず控えをとって下さい。

[2] 「設定書込」をクリックします。

(設定書込の実行について詳細は、前述 7-2 項を参照下さい)

(4) rootパスワードの内容を忘れてしまった場合

[1] れんら君を工場出荷状態にする

れんら君の設定を工場出荷状態に初期化する手順は以下の通りです。

- ① れんら君の電源を切ります。
- ② シャープペンシルの先などでれんら君の後背面の設定スイッチを押しながら、れんら君に電源を入れます。
- ③ 約 10 秒押しつづけければ、STAT LED が点滅し設定モードでれんら君が起動します。
- ④ 設定スイッチを押すのを止めます。
- ⑤ 再度、設定スイッチを数秒押し続けて、STAT LED が消灯、れんら君が再起動します。

[2] 再度、れんら君の設定をする

(れんら君の設定について詳細は、前述 7章を参照下さい)

9-2 自動設定モード

自動設定モードは、れんら君の設定を保存するときに遠隔操作でれんら君を再起動して、設定を保存できる状態にする機能です。自動設定モードを禁止にした場合、設定を保存する前に手動による再起動を行います。

(1)自動設定モードを禁止する

以下の手順の通りにしてください。

[1]設定の[システム]タブの自動設定モード禁止をチェックします

(設定の編集フォームの表示について詳細は、前述 7-1 項を参照下さい)

[2]「設定書込」をクリックします

(設定書込の実行について詳細は、前述 7-2 項を参照下さい)

(2)れんら君の設定を保存する

(1)の操作後、れんら君の設定を保存する前にれんら君を手動で設定を保存できる状態に再起動します。再起動後、れんら君の設定を保存します。

以下の手順の通りにして下さい。

[1]れんら君を設定モードで起動する

①れんら君の電源を切ります。

②シャープペンシルの先などでれんら君の後背面の設定スイッチを押しながら、れんら君に電源を入れます。

③約 10 秒押しつづけければ、STAT LED が点滅し設定モードでれんら君が起動します。

④設定スイッチを押すのを止めます。

<注意>れんら君の設定を保存するときに再起動して、STAT LED が点滅します。このとき、READYリレー接点は閉となります。

(READYリレー接点について詳細は、ハードウェアマニュアルを参照下さい)

[2]「設定書込」をクリックする

(設定書込の実行について詳細は、前述 7-2 項を参照下さい)

10 コマンドメール機能

10-1 コマンドメール機能について

コマンドメールとは、電子メールにより、れんら君の制御や状態取得を行う機能です。
パソコンや携帯電話から電子メールを送ることで、遠隔地かられんら君の制御を行うことが出来ます。
テキスト形式のメールに対応します。リッチテキスト形式（HTML形式）のメールは対応しません。

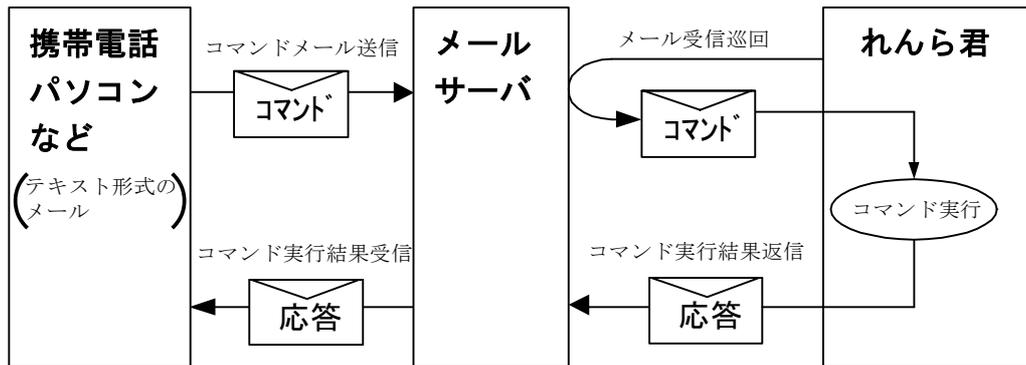


図 10-1 コマンドメール実行動作概要

コマンドメールにより、以下の機能を使用することが出来ます。
(4～7の機能は Firmware Ver. 1.00 では未対応)

表 10-1 コマンド一覧

項番	コマンド名	機能
1	STATUS	れんら君の動作状態、接点の入出力状態を取得します。
2	START	れんら君を状態監視状態にします。
3	STOP	れんら君の状態監視状態を解除します。
4	FSHOT	れんら君の出力接点を指定時間だけONします。
5	FON	れんら君の出力接点を強制出力状態にし、出力をONに固定します。
6	FOFF	れんら君の出力接点を強制出力状態にし、出力をOFFに固定します。
7	FRESET	れんら君の出力接点の強制出力状態を解除し、通常出力に戻します。

10-2 コマンドメールの作成方法

10-2-1 コマンドメールのフォーマット

コマンドメールを送信するには、下記のように、件名、本文を入力する必要があります。

宛先	メールアドレスを入力します
件名	ユニット名を入力します
本文	ユーザID、パスワード、コマンドを入力します

図 10-2-1 コマンドメール入力項目

(1)宛先

れんら君がメール受信を行うメールアドレスを入力します。

(2)件名

れんら君のユニット名を半角英数で入力します。

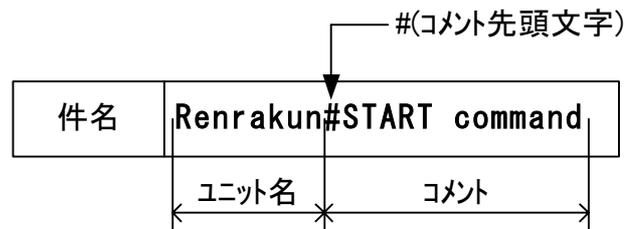
れんら君は、件名欄に入力されたユニット名により、実行するコマンドメールを判別し、該当するメールのみ読込・実行します。
実行完了したメールは削除されます。

ユニット名の後ろにコメントを追加することも出来ます。

コメントを入力するには、れんら君のユニット名の後ろに#を入力し、その後にコメントを半角英数で入力します。

コメントの文字数は 40 文字までです。

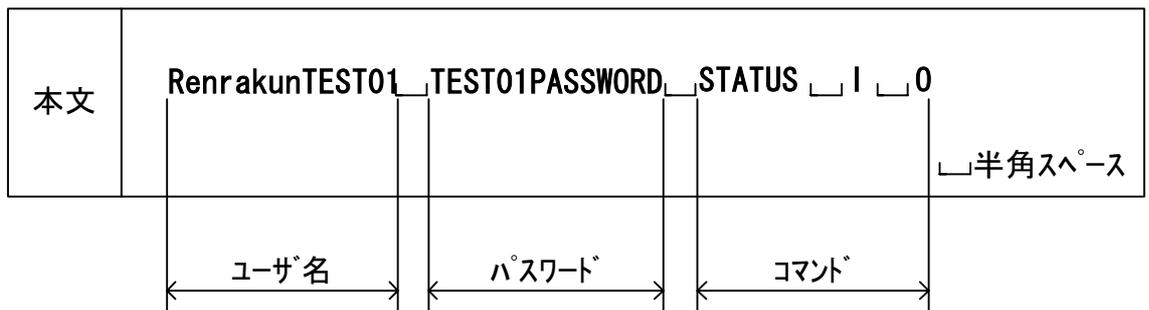
(例) れんら君のユニット名 : Renrakun
コメントの場合 : START command



(3)メール本文

メール本文の最初の行に、認証用のユーザー名、パスワードと実行するコマンドを入力します。ユーザー名、パスワード、コマンド及び、コマンドの引数はそれぞれ 1 つの半角スペースで区切り、一行以内に入力します。
行の終端の改行の有無は関係ありません。

(例) ユーザー名 : **RenrakunTEST01**
パスワード : **TEST01PASSWORD**
コマンド : **STATUS I O**
を実行する場合



(4)応答先

コマンドメールの実行結果はメール送信元に返信されます。

メール送信元から、応答先が指定されている場合は指定されたメールアドレスへ実行結果を返信します。
通常は、送信元へコマンドメールの実行結果を返信します。

10-3 コマンド説明

(1)STATUS

れんら君の動作状態と接点の入出力状態を取得します。

<コマンド構文>

STATUS

または

STATUS [ステータス記号] . . . [ステータス記号]

ステータス記号 : 取得したいステータス情報の記号を指定します。
読み出したい順に最大 5 つまで半角スペースで区切って指定してください。
引数を省略した場合はすべてのステータス情報を読み出します。

U : エット状態

M : メール状態

I : 入力状態

O : 出力状態

S : モード状態

<レスポンス>

```
+OK "STATUS"  
# UNIT STATUS  
  <UNIT>    READY  
  <EVENT>   START  
# MAIL STATUS  
  <NOTIFY>  READY  
  <COMMAND> READY  
# INPUT STATUS  
  <IN0>    OFF  
  <IN1>    OFF  
  <IN2>    OFF  
  <IN3>    OFF  
  <IN4>    OFF  
  <IN5>    ON  
  <IN6>    OFF  
  <IN7>    ON  
# OUTPUT STATUS  
  <OUT0>   OFF  
  <OUT1>   OFF  
  <OUT2>   OFF  
  <OUT3>   OFF  
  <OUT4>   OFF  
  <OUT5>   ON  
  <OUT6>   ON  
  <OUT7>   ON  
# WATCH INPUT STATE  
  <STATE0>  NORMAL  
  <STATE1>  NORMAL  
  <STATE2>  NORMAL  
  <STATE3>  NORMAL  
  <STATE4>  NORMAL  
  <STATE5>  ATTENTION  
  <STATE6>  PROTECT  
  <STATE7>  WARNING
```

<例>入力状態と出力状態を読み出す場合

```
STATUS I 0
```

(2)START

れんら君を状態監視状態にします。

<コマンド構文>

START

<レスポンス>

+OK "START"

(3)STOP

れんら君の状態監視状態を解除します。

<コマンド構文>

STOP

<レスポンス>

+OK "STOP"

(4)FSHOT

れんら君の出力接点を指定時間だけONします。
出力接点が強制出力状態の時は実行できません。

<コマンド構文>

FSHOT [I/O番号] [出力時間]

I/O番号 :I/O番号を指定します。

出力時間:100ms単位で指定します。

出力時間誤差は、設定値+100ms,-0msです。

設定範囲は、1~4095 (0.1秒~6分49.5秒)です。

<レスポンス>

+OK "FSHOT"

Output 0 1000ms pulse

<例>接点0に2000ms間、ONパルスを出力する場合

FSHOT 0 20

(5)FON

れんら君の出力接点を強制ONします。

FRESETコマンドによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<コマンド構文>

FON [I/O番号]

I/O番号 :I/O 番号を指定します。

<レスポンス>

+OK "FON"

Output 2 force on

<例>接点2を強制ON状態にする場合

FON 2

(6)FOFF

れんら君の出力接点を強制OFFします。

FRESETコマンドによって強制出力を解除するまで強制出力状態は続きます。

<コマンド構文>

FOFF [I/O番号]

I/O番号 :I/O 番号を指定します。

<レスポンス>

+OK "FOFF"

Output 3 force off

<例>接点3を強制OFF状態にする場合

FOFF 3

(7)FRESET

れんら君の出力接点の強制出力状態を解除し、通常出力に戻します。

<コマンド構文>

FRESET [I/O番号]

I/O番号 :I/O 番号を指定します。

<レスポンス>

+OK "FRESET"

Output 7 force reset

<例>接点7の強制出力状態を解除する

FRESET 7

10-4 エラーメッセージ

コマンドメールを実行することが出来ない場合、れんら君からエラーメッセージを含んだ応答メールを返信します。

エラーとなる要因は、以下の通りです。

(1) 認証失敗

<エラーメッセージ>

-ERR unmatched USERNAME or PASSWORD

<エラーの要因>

ユーザ名または、パスワードが設定された値と異なる為、認証に失敗。

ユーザ名または、パスワードに誤りがあると考えられます。

アルファベットの大文字・小文字の誤り、入力ミスが原因として考えられます。

メール形式がテキスト形式で無い時、認証に失敗します。

リッチテキスト形式（HTML形式）のメールには対応していません。

(2) 無効なコマンド

<エラーメッセージ>

-ERR "コマンド名" command not found

<エラーの要因>

入力されたコマンドが、無効なコマンドの為、実行不可能。

入力されたコマンドに誤りがあると考えられます。

(3) コマンドフォーマット異常

<エラーメッセージ>

-ERR "コマンド名" command argument count wrong

<エラーの要因>

入力されたコマンドの引数の数が、定められたフォーマットと異なる。

(4) コマンド引数値異常

<エラーメッセージ>

-ERR "コマンド名" command argument "引数名" wrong

<エラーの要因>

入力されたコマンド引数値が、規定範囲外である。

(5) コマンド実行拒絶

<エラーメッセージ>

-ERR "コマンド名" command not enough condition at 出力番号

<エラーの要因>

入力されたコマンドの実行条件不成立の為、実行を拒絶。

出力接点が強制出力状態であることが原因として考えられます。

11 設定項目一覧・設定チェックシート

れんら君はネットワーク設定、入出力設定を行って初めて正常にご使用することができます。ネットワーク設定は、必ず設定する必要がある項目やれんら君をご使用になられる接続環境や用途により、設定を変更する必要がある項目があります。

設定項目一覧より必要な項目を確認し、設定チェックシートに書き込むと便利です。

11-1 設定項目一覧

設定項目一覧です。必要な項目を確認の上、チェックシートに設定を書き込んでお手元に保存してください。

れんら君設定項目一覧

a	b	c	通常のメール発信を行う場合		
			SMTPサーバ認証タイプがPOP-before-SMTPの場合		
			コメントメールによりれんら君のコントロールを行う場合		
			項目名	出荷時設定値	項目説明
●	●	●	IPアドレス	192.168. 0.251	11-2-1
○	○	○	サブネットマスク	255.255.255. 0	
●	●	●	デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0	
○	○	○	プライマリDNSサーバIP	0. 0. 0. 0	
			セカンダリDNSサーバIP	0. 0. 0. 0	
○	○	●	ユニット名		11-2-2
		●	ユーザ名		
		●	パスワード		
●	●	●	rootパスワード	root	11-2-3
●	●	●	SMTPサーバ		
○	○	○	SMTPポート	25	
○	○	○	SMTP認証タイプ	Normal SMTP	
○	○	○	送信リトライ間隔	30(秒)	
○	○	○	送信リトライ回数	5(回)	11-2-4
	●	●	POP3サーバ		
	○	○	POP3ポート	110	
	●	●	POP3アカウント名		
	●	●	POP3パスワード		11-2-5
		●	POP3問合せ間隔	0(問合せしない)	
		●	返信用Fromアドレス		
○	○	○	システム制御		11-2-6
○	○	○	入力0極性	Low	11-2-7(a)
○	○	○	入力0注意判定時間	設定しない	
○	○	○	入力1極性	Low	11-2-7(b)
○	○	○	入力1注意判定時間	設定しない	
○	○	○	入力2極性	Low	11-2-7(c)
○	○	○	入力2注意判定時間	設定しない	
○	○	○	入力3極性	Low	11-2-7(d)
○	○	○	入力3注意判定時間	設定しない	
○	○	○	入力4極性	Low	11-2-7(e)
○	○	○	入力4注意判定時間	設定しない	
○	○	○	入力5極性	Low	11-2-7(f)
○	○	○	入力5注意判定時間	設定しない	
○	○	○	入力6極性	Low	11-2-7(g)
○	○	○	入力6注意判定時間	設定しない	
○	○	○	入力7極性	Low	11-2-7(h)
○	○	○	入力7注意判定時間	設定しない	

● : 必ず設定する必要がある項目です。

○ : 接続環境や用途により、設定を変更する必要があります。

空欄 : デフォルト値のまま、設定する必要はありません。

11-2 設定チェックシート

11-2-1 れんら君ネットワーク設定

(1) IPアドレス

れんら君に割り当てる IPアドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

(2) ネットマスク

れんら君を接続するネットワークのサブネットマスクを入力します。

(例) 255.255.255.0

(3) デフォルトゲートウェイ

外部のネットワークに接続する場合にデフォルトゲートウェイIPアドレスを入力します。

ルータ等により、インターネットに接続している場合に必要になります。

外部のネットワークと接続しない場合は、0.0.0.0を設定します。

外部ネットワークに接続する

デフォルトゲートウェイIPアドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

しない

0.0.0.0を入力します。

(4) プライマリDNSサーバ IP

プライマリDNSサーバの IPアドレスを入力します。

プライマリDNSサーバを使用しない場合は、0.0.0.0を入力します。

SMTPサーバ名または、POP3サーバ名をドメイン名で指定する場合は、「プライマリDNSサーバを使用する」を選択してください。

- プライマリDNSサーバを使用する

プライマリDNSサーバの IPアドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

- しない

0.0.0.0を入力します。

(5) セカンダリDNSサーバ IP

セカンダリDNSサーバの IPアドレスを入力します。

セカンダリDNSサーバを使用しない場合は、0.0.0.0を入力します。

SMTPサーバ名または、POP3サーバ名をドメイン名で指定する場合は、「セカンダリDNSサーバを使用する」を選択してください。

- セカンダリDNSサーバを使用する

セカンダリDNSサーバの IPアドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

- しない

0.0.0.0を入力します。

11-2-2 れんら君 I D 設定

(1) エット名

れんら君識別用の名称を入力します。

半角英数文字で最大 16 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

#は使用出来ません。

複数台のれんら君を使用する場合は、個別の名称を設定するようにして下さい。

(例) Renrakun

(2) ユーザ名

れんら君ユーザ認証用のユーザ名を入力します。

半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

(例) RenrakunTEST01

(3) パスワード

れんら君ユーザ認証用のパスワード名を入力します。

半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

(例) RenrakunTEST01

(4) rootパスワード

れんら君設定用のパスワードを入力します。

半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

(例) root

11-2-3 Mail 送信設定

(1) SMTPサーバ

プロバイダから取得した SMTPサーバ (メール送信用サーバ) の名称、または、IPアドレスを入力します。

SMTPサーバの名称が、ドメイン名により指定される場合は、11-2-1 (4), (5)にて DNSサーバの設定が必要になります。

半角文字で最大 40 文字まで入力できます。

ドメイン名指定

(例) smtp.example.com

▶ 11-2-1 (4), (5) DNS 設定を行って下さい。

IPアドレス指定

(例) 192.168.0.251

(2) SMTPポート

プロバイダから取得した、SMTPサーバのポート番号を入力します。

通常は、25 (デフォルト値) です。

(例) 25

(3) SMTP 認証タイプ

プロバイダから取得した、SMTPサーバへの認証方法を入力します。

通常は、Normal SMTP (デフォルト値) です。

SMTPサーバの認証方法が、POP before SMTP に設定されている場合は、11-2-5 Mail 受信設定を行って下さい。

Normal SMTP

POP before SMTP

▶ 11-2-4 Mail 受信設定を行って下さい。

(4) 送信トライ間隔

メール送信に失敗した場合の、送信トライするまでの待機時間を秒単位で入力します。

(例) 30(秒)

(5) 送信トライ回数

メール送信に失敗した場合に送信トライする回数の上限を入力します。

-1 に設定すると、無限にトライを行います。

(例) 5(回)

11-2-4 Mail 受信設定

(1) POP3サーバ

プロバイダから取得した、POP3サーバ（メール受信用サーバ）の名称、または、IPアドレスのどちらかを入力します。

POP3サーバの名称が、ドメイン名により指定される場合は、DNSサーバの設定が必要になります。

半角文字で最大 40 文字まで入力できます。

ドメイン名指定

(例) pop.example.com

▶ 11-2-1 (4), (5) DNS 設定を行って下さい。

IPアドレス指定

(例) 192.168.0.251

(2) POP3ポート

プロバイダから取得した、POP3サーバのポート番号を入力します。
通常は、110(デフォルト値)です。

(例) 110

(3) POP3アカウント名

プロバイダから取得した、メール受信用アカウントを入力します。
半角文字で最大 39 文字まで入力できます。

(例) MAILusername

(4) POP3パスワード

メール受信用パスワードを入力します。
半角文字で最大 19 文字まで入力できます。

(例) MAILuserpassword

11-2-5 コマンドメール設定

(1) POP3 問合せ間隔

れんら君がコマンドメールの受信を行う間隔を分単位で設定します。

設定範囲は、0～65500(分)です。

0に設定するとメールコマンド受信を行いません。

コマンドメール機能を使用する

コマンドメール受信問合せ間隔を分単位で設定します。

(例) 30(分)

使用しない

0に設定して下さい。

(2) 返信用 Fromアドレス

コマンドメールの実行結果を知らせる応答メールに入力する Fromアドレスを入力します。

通常は、受信に使用したメールアドレスを入力します。

半角文字で最大 39 文字まで入力できます。

(例) `username@example.com`

11-2-6 システム設定

(1) システム制御

れんら君の通信に関する設定を行います。

れんら君マップ応答禁止

れんら君マップの応答を禁止します。

自動設定モード禁止

れんら君の設定内容を書き込む前に遠隔操作で再起動をする機能を禁止します。
これにより、設定変更の際は手動での設定モード切り替えが必要になります。

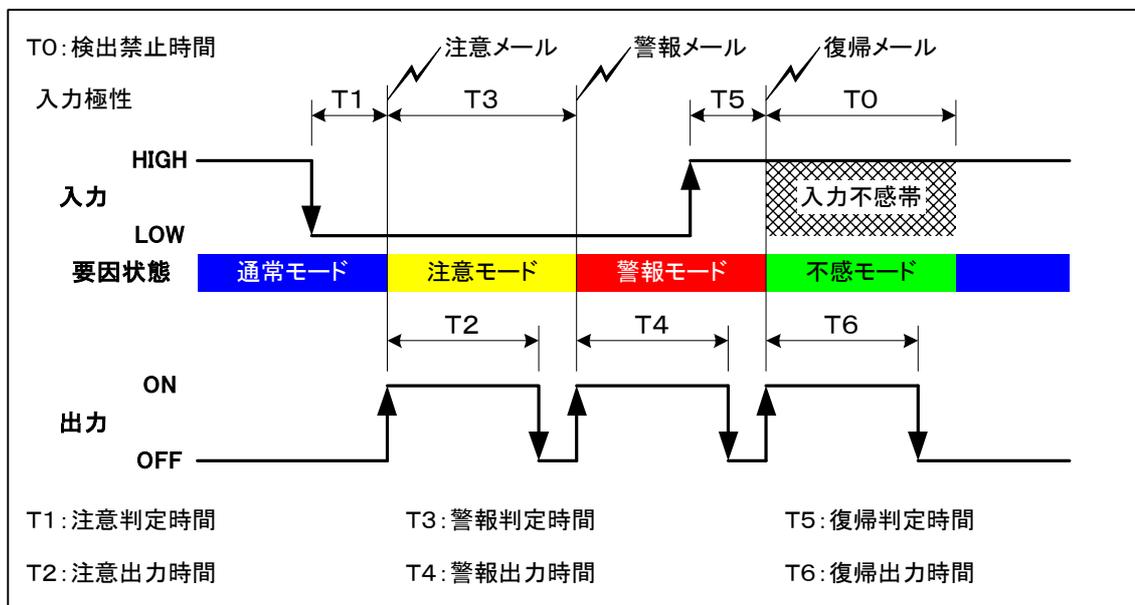
監視停止時出力保持

れんら君を監視停止状態にした時に出力をクリアせず、設定の出力時間まで継続して動作させます。(Firmware Ver. 1.10以降で有効)

11-2-7 入力要因設定

11-2-7 (a) 入力 0 要因設定

入力 0 のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力 0 極性設定

入力 0 の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクロス接続)

(2) 入力 0 検出禁止時間設定

入力 0 の検出禁止時間 (T 0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(3) 入力0 注意判定時間設定

入力0の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(4) 入力0 注意出力先設定

入力0の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(5) 入力0 注意出力時間設定

入力0の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(6) 入力0警報定時間設定

入力0の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(7) 入力0警報出力先設定

入力0の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力0警報出力時間設定

入力0の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(9) 入力0復帰定時間設定

入力0の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(10) 入力0復帰出力先設定

入力0の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

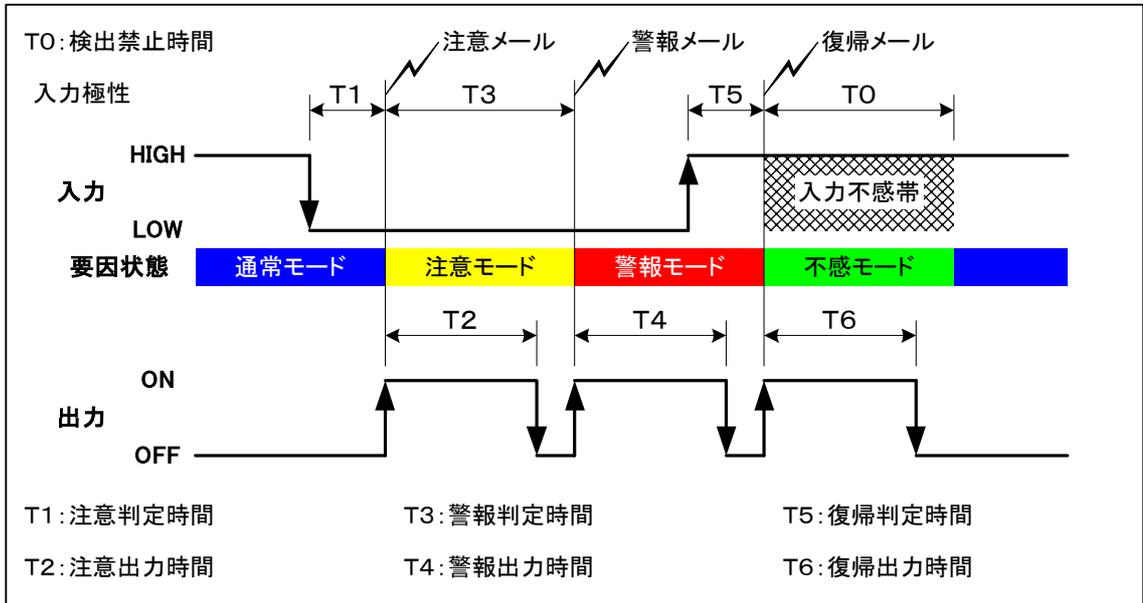
(11) 入力0復帰出力時間設定

入力0の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

11-2-7 (b) 入力1 要因設定

入力1のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力1 極性設定

入力1の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクロス接続)

(2) 入力1 検出禁止時間設定

入力1の検出禁止時間 (T0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒~59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒~59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分~23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間~2 日 20 時間 日 時間

(3) 入力1 注意判定時間設定

入力1の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～23時間59分 時間 分
- 1日00時間～2日20時間 日 時間

(4) 入力1 注意出力先設定

入力1の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(5) 入力1 注意出力時間設定

入力1の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～1時間08分 時間 分

(6) 入力1 警報定時間設定

入力1の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(7) 入力1 警報出力先設定

入力1の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力1 警報出力時間設定

入力1の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(9) 入力1復帰定時間設定

入力1の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(10) 入力1復帰出力先設定

入力1の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

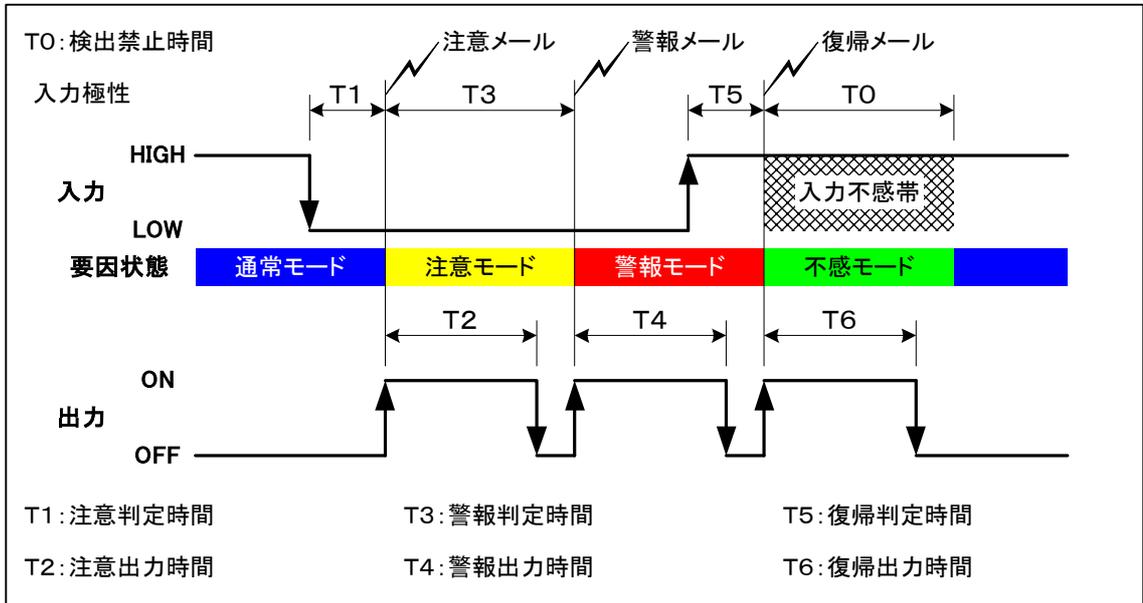
(11) 入力1復帰出力時間設定

入力1の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

11-2-7 (c) 入力 2 要因設定

入力 2 のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力 2 極性設定

入力 2 の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクロス接続)

(2) 入力 2 検出禁止時間設定

入力 2 の検出禁止時間 (T0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒~59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒~59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分~23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間~2 日 20 時間 日 時間

(3) 入力2 注意判定時間設定

入力2の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～23時間59分 時間 分
- 1日00時間～2日20時間 日 時間

(4) 入力2 注意出力先設定

入力2の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(5) 入力2 注意出力時間設定

入力2の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～1時間08分 時間 分

(6) 入力2警報定時間設定

入力2の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(7) 入力2警報出力先設定

入力2の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力2警報出力時間設定

入力2の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(9) 入力2復帰定時間設定

入力2の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(10) 入力2復帰出力先設定

入力2の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

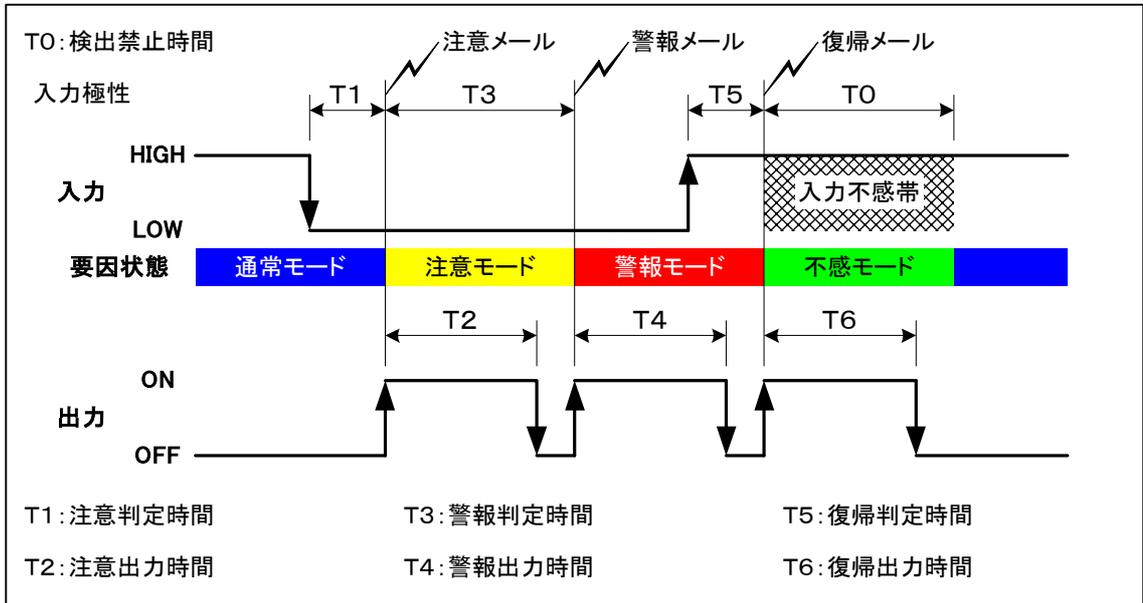
(11) 入力2復帰出力時間設定

入力2の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

11-2-7 (d) 入力3 要因設定

入力3のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力3 極性設定

入力3の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクロス接続)

(2) 入力3 検出禁止時間設定

入力3の検出禁止時間 (T0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒~59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒~59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分~23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間~2 日 20 時間 日 時間

(3) 入力3注意判定時間設定

入力3の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(4) 入力3注意出力先設定

入力3の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(5) 入力3注意出力時間設定

入力3の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(6) 入力3警報定時間設定

入力3の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(7) 入力3警報出力先設定

入力3の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力3警報出力時間設定

入力3の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(9) 入力3復帰定時間設定

入力3の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(10) 入力3復帰出力先設定

入力3の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

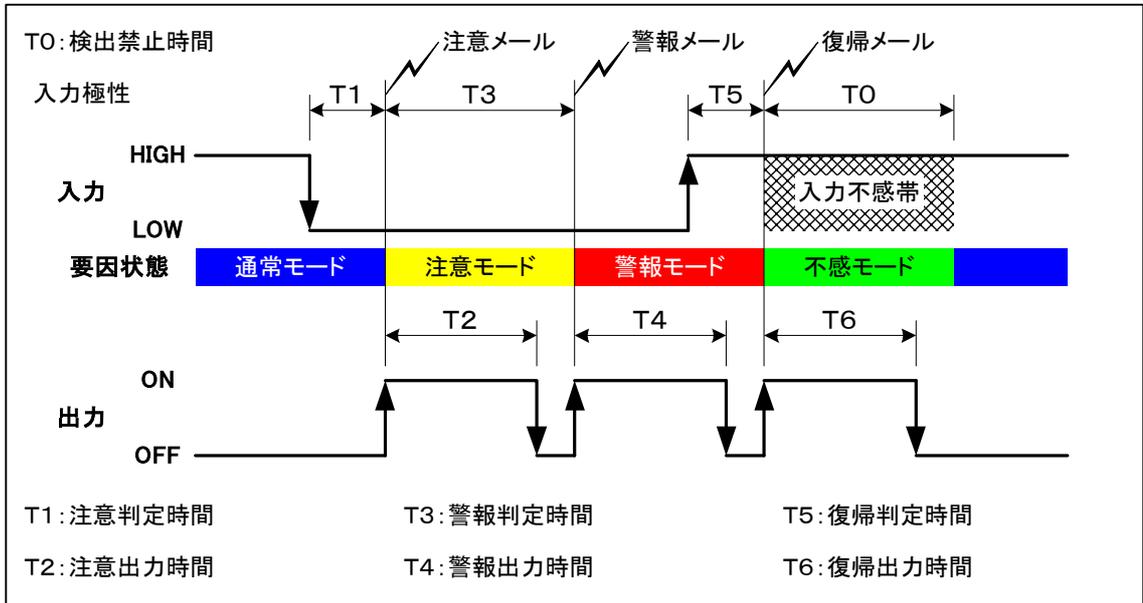
(11) 入力3復帰出力時間設定

入力3の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

11-2-7 (e) 入力4 要因設定

入力4のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力4 極性設定

入力4の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクロス接続)

(2) 入力4 検出禁止時間設定

入力4の検出禁止時間 (T0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒~59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒~59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分~23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間~2 日 20 時間 日 時間

(3) 入力4注意判定時間設定

入力4の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(4) 入力4注意出力先設定

入力4の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(5) 入力4注意出力時間設定

入力4の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(6) 入力4警報定時間設定

入力4の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(7) 入力4警報出力先設定

入力4の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力4警報出力時間設定

入力4の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(9) 入力4復帰定時間設定

入力4の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(10) 入力4復帰出力先設定

入力4の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

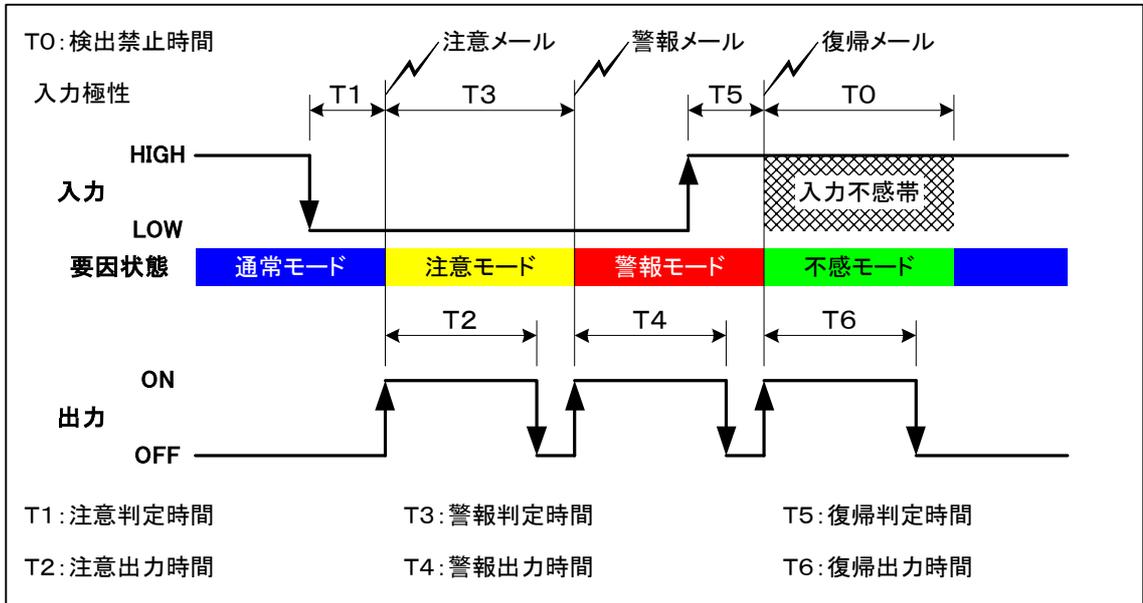
(11) 入力4復帰出力時間設定

入力4の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

11-2-7 (f) 入力5 要因設定

入力5のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力5 極性設定

入力5の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクロス接続)

(2) 入力5 検出禁止時間設定

入力5の検出禁止時間 (T0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 □.□ 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 □分□ 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 □時間□分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 □日□時間

(3) 入力5注意判定時間設定

入力5の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(4) 入力5注意出力先設定

入力5の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(5) 入力5注意出力時間設定

入力5の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(6) 入力5警報定時間設定

入力5の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(7) 入力5警報出力先設定

入力5の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力5警報出力時間設定

入力5の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(9) 入力5復帰定時間設定

入力5の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(10) 入力5復帰出力先設定

入力5の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

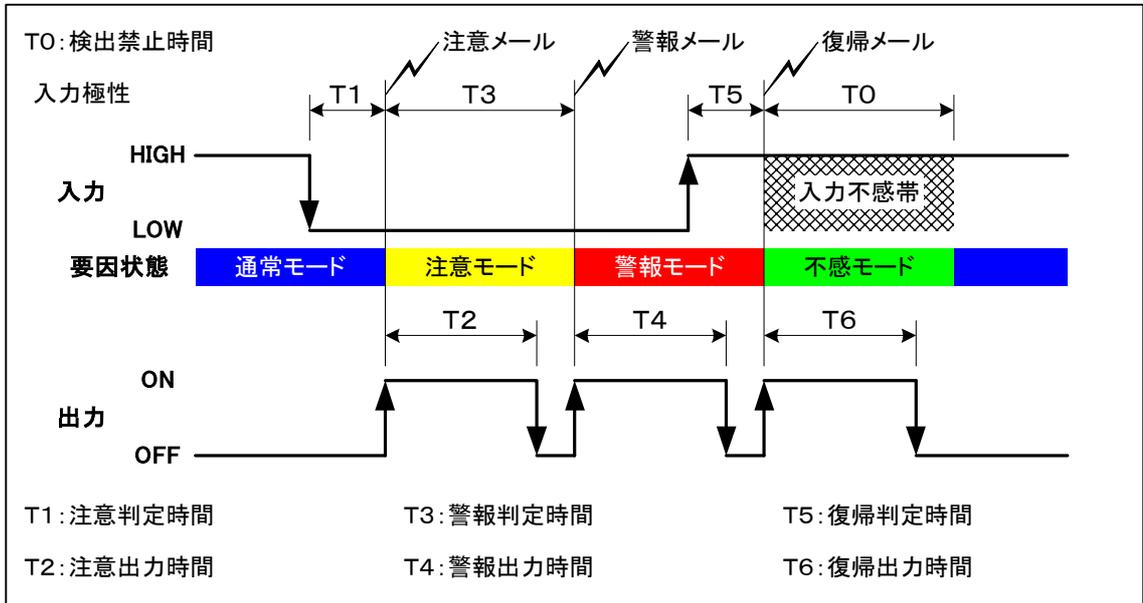
(11) 入力5復帰出力時間設定

入力5の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

11-2-7 (g) 入力6 要因設定

入力6のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力6 極性設定

入力6の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクローズ接続)

(2) 入力6 検出禁止時間設定

入力6の検出禁止時間 (T0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 [] . [] 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 [] 分 [] 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 [] 時間 [] 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 [] 日 [] 時間

(3) 入力6 注意判定時間設定

入力6の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～23時間59分 時間 分
- 1日00時間～2日20時間 日 時間

(4) 入力6 注意出力先設定

入力6の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(5) 入力6 注意出力時間設定

入力6の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～1時間08分 時間 分

(6) 入力6 警報定時間設定

入力6の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(7) 入力6 警報出力先設定

入力6の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力6 警報出力時間設定

入力6の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

(9) 入力6 復帰定時間設定

入力6の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 □.□秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 □分□秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 □時間□分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 □日□時間

(10) 入力6 復帰出力先設定

入力6の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

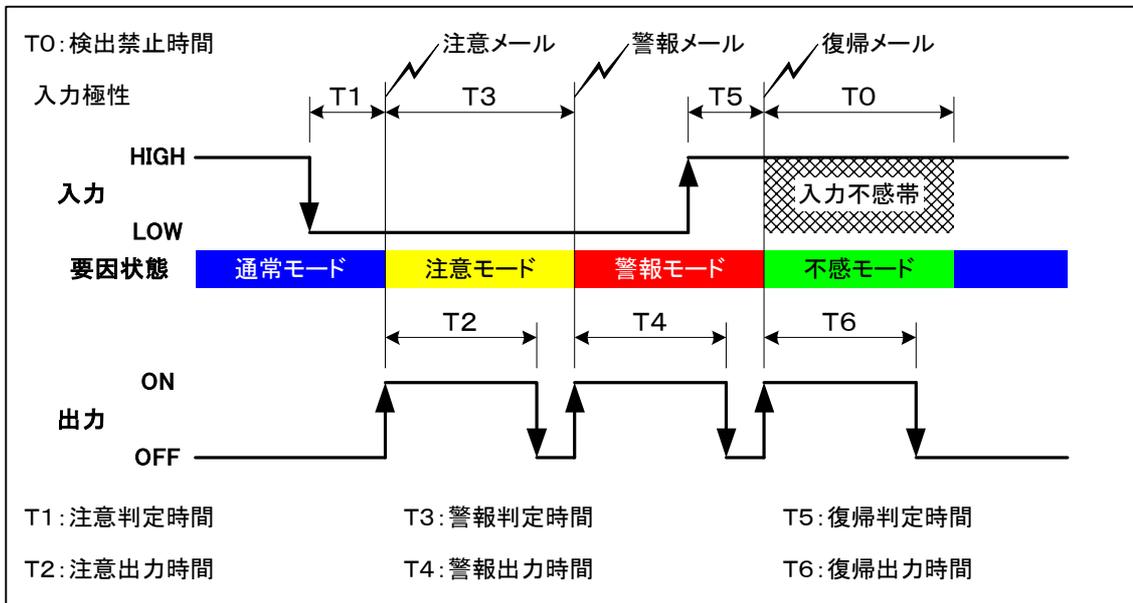
(11) 入力6 復帰出力時間設定

入力6の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 □.□秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 □分□秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 □時間□分

11-2-7 (h) 入力7 要因設定

入力7のイベント条件の設定を行います。



(1) 入力7 極性設定

入力7の検出極性を設定します。

- L o w (立下り検出, ノーマルオープン接続)
- H i g h (立ち上がり検出, ノーマルクローズ接続)

(2) 入力7 検出禁止時間設定

入力7の検出禁止時間 (T0) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 □.□ 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 □分□ 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 □時間□分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 □日□時間

(3) 入力7注意判定時間設定

入力7の注意判定時間 (T 1) を設定します。

- 設定しない
- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～23時間59分 時間 分
- 1日00時間～2日20時間 日 時間

(4) 入力7注意出力先設定

入力7の注意出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0番ポート
- 出力1番ポート
- 出力2番ポート
- 出力3番ポート
- 出力4番ポート
- 出力5番ポート
- 出力6番ポート
- 出力7番ポート

(5) 入力7注意出力時間設定

入力7の注意出力時間 (T 2) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1分00秒～59分59秒 分 秒
- 1時間00分～1時間08分 時間 分

(6) 入力7警報定時間設定

入力7の警報判定時間 (T 3) を設定します。

- 設定しない
- 0.1 秒～59.9 秒 □.□秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 □分□秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 □時間□分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 □日□時間

(7) 入力7警報出力先設定

入力7の警報出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(8) 入力7警報出力時間設定

入力7の警報出力時間 (T 4) を設定します。

- 警報解除まで
- 0.1 秒～59.9 秒 □.□秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 □分□秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 □時間□分

(9) 入力7復帰定時間設定

入力7の復帰判定時間 (T 5) を設定します。

- 待ち時間なし
- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～23 時間 59 分 時間 分
- 1 日 00 時間～2 日 20 時間 日 時間

(10) 入力7復帰出力先設定

入力7の復帰出力先ポート番号を設定します。

- 出力しない
- 出力0 番ポート
- 出力1 番ポート
- 出力2 番ポート
- 出力3 番ポート
- 出力4 番ポート
- 出力5 番ポート
- 出力6 番ポート
- 出力7 番ポート

(11) 入力7復帰出力時間設定

入力7の復帰出力時間 (T 6) を設定します。

- 0.1 秒～59.9 秒 . 秒
- 1 分 00 秒～59 分 59 秒 分 秒
- 1 時間 00 分～1 時間 08 分 時間 分

12 れんら君に接続できないときには

まず次のことを確認してください。

- (1) 本製品のPWR_LEDが点灯していること。
- (2) 本製品の電源電圧が20.4～27.6Vの範囲にあること。
- (3) 配線、接続が確実であること。
- (4) IPアドレス設定が正確であること、重複していないこと。

以下の症状別チェックリストを点検後、不具合を修正し本製品を再起動してください。

12-1 症状別チェックリスト

症状	チェック項目
10BASE LED, 100BASE LEDが消灯したまま変化しない。 PWR LEDが消灯したまま変化しない。	<ul style="list-style-type: none">● LANケーブルが正しく接続されているか。● 電源が投入されているか。
10BASE LED, 100BASE LEDが点灯または点滅しているが、PWR LEDが赤点灯している。	<ul style="list-style-type: none">● 本製品のIPアドレスと同じアドレスを持っている機器が同じネットワーク内に接続されていないか。● LANケーブルが正しく配線されているか。● 電源ケーブル、電源が正しく配線, 設定されているか。 周囲にノイズを発生させる機器がある場合は、HUBや通信ケーブルにノイズ対策を行ってください。
センサー信号を入力しているがメールが送信されない。	<ul style="list-style-type: none">● STAT LEDが緑点灯していないか。● 入力LEDが点灯するか。● LANケーブルが正しく配線されているか。● 電源ケーブル、電源が正しく配線, 設定されているか。● メール設定やネットワーク設定が正しいか。
LED表示は正しいが、パソコンかられんら君が確認できない。	<ul style="list-style-type: none">● ファイウォールソフトがれんら君との接続を禁じていないか。● pingコマンドでれんら君のIPアドレスを確認できないか。 pingコマンドでれんら君のIPアドレスを確認できないときは、ファイウォールソフトや、サブネットマスクの設定、IPアドレスのネットワーク部の不一致などが考えられます。

12-2 トラブルシューティング

症状	チェック項目
選択中のれんら君がわからない	<ul style="list-style-type: none"> 画面下のステータスバーに選択中のれんら君のエット名、IPアドレス、MACアドレスの情報が表示されます
通知メールの本文が確認できない	<ul style="list-style-type: none"> 通知メールの内容は、【メール一覧】、【注意メール】、【警報メール】、【復帰メール】でメールリストをクリックすることで確認できます。ただし、れんら君設定ソフトは、ハイパーテキストとHTML形式のメール本文の表示は対応しておりません。同様に、画像も表示できません。メール本文はTEXT形式のみ表示します。
表示中の設定情報がれんら君の内容なのか、PCで編集した内容なのかわからない	<ul style="list-style-type: none"> 【れんら君一覧】の【設定】が”れんら君”であればれんら君の設定内容を表示しています。”PC”であれば設定ソフトで内容が編集されているので、れんら君の設定内容と異なっています。
【れんら君一覧】のリストにIPアドレス、MACアドレスの表示が“?”が表示されている	<ul style="list-style-type: none"> 【れんら君マップ】で探索した結果、同じIPアドレスを使用しているれんら君が存在します。競合しないようにIPアドレスを割り当ててください。
以前に設定を行ったれんら君を【れんら君マップ】で発見したが、設定が出荷状態になっている	<ul style="list-style-type: none"> 【れんら君マップ】では、れんら君の設定情報は取得できません。【設定読込】を実行してください
【設定読込】、【設定書込】で”れんら君が選択されていません”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> 【れんら君一覧】のリストをクリックして対象を選択してから、もう一度、実行してください。
【設定読込】、【設定書込】で”れんら君に接続できませんでした”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> 症状別チェックリスト を参照してください
【設定書込】で”れんら君ネットワーク設定の○○の設定が異常です”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> 【れんら君ネットワーク設定】のIPアドレス、サブネットマスク、ホスト名、デフォルトゲートウェイ、プライマリDNSサーバーの設定内容を確認してください。
【設定読込】、【設定書込】で”ユーザー名、または、パスワードが違います”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> れんら君の管理者権限のパスワード認証に失敗しています。設定の【rootパスワード】の設定項目がれんら君に書き込まれている内容とRootパスワード入力ダイアログに入力された内容と食い違っています。(詳細は、前述の9章を参照ください)
【設定読込】で”入力要因、及び、通知メール出力の設定が見つかりません”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> れんら君が工場出荷状態で設定の一部が参照できない。【設定書込】を実行してください
【設定書込】で”入力要因、及び、通知メール出力の設定に失敗しました”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> 症状別チェックリスト を参照してください

症状	チェック項目
【設定読込】，【設定書込】で“れんら君から応答が返ってこないか、通信が切断されています”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> ● 症状別チェックリスト を参照してください
【設定読込】，【設定書込】で“ご使用のパソコンがれんら君と通信できるIPアドレスに設定されていません”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用のパソコンをれんら君に通信が行えるネットワーク設定に変更してください。 (詳細については 7-2 項 を参照してください)
【設定読込】，【設定書込】で“入力要因、及び、通知メール出力の設定データの形式が異なります”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定ソフトがれんら君に対応していません。れんら君に対応した設定ソフトでれんら君の設定を行ってください。対応機種は、設定ソフトのヘルプ (H)→バージョン情報(A)...で確認できます
メールデータの編集を終了した際に“編集後のメールがれんら君に登録できません”のメッセージと共にれんら君のIPアドレス、MACアドレスのリストが表示されて、通知メールの登録が全て解除されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● リストに表示されたれんら君の通知メールの登録を再度行ってください。これは、編集後のメールがれんら君に登録できるサイズよりも大きくなった為におきます。設定ソフトのメール登録容量のインジケータで登録可能な残容量、メールデータのインジケータで編集中のメールサイズを確認しながら、メールの編集をおこなってください。
【設定書込】で“メールデータの転送に失敗しました”のメッセージが表示されて失敗する	<ul style="list-style-type: none"> ● 症状別チェックリスト を参照してください
【設定読込】，【設定書込】で“通信処理でデータに誤りを発見しました”のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 症状別チェックリスト を参照してください
【設定読込】，【設定書込】で“れんら君が設定モードで起動していません”のメッセージが表示されて失敗する。	<ul style="list-style-type: none"> ● れんら君を手動で再起動して、再度、実行してください。 (詳細は、前述の 7-2 項 を参照してください)
【設定コピー】で“れんら君の設定内容のコピー元が選択されていません”のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 【れんら君一覧】のリストをクリックして設定内容のコピー元を選択してから、【設定コピー】を実行してください。その後、コピー先を選択して、【設定貼り付け】を実行してください。
【設定貼り付け】で“れんら君の設定内容の貼り付け先が選択されていません”のメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 【れんら君一覧】のリストをクリックして設定内容のコピー先を選択してから、【設定貼り付け】を実行してください。
れんら君設定ソフトをセットアップできない	<ul style="list-style-type: none"> ● WindowsXP SP2 においてユーザーアカウントに全角文字を使っている場合 れんら君設定ソフトのセットアップに失敗します。 半角文字のユーザーアカウントで WindowsXP SP2 にログイン後れんら君設定ソフトをセットアップしてください。
コメントメールを送信するとエラーメッセージが返信される	<ul style="list-style-type: none"> ● 10-4 エラーメッセージ を参照してください

NKE株式会社

本社工場	〒617-0828 京都府長岡京市馬場岡所27	TEL 075-955-0071 (代)	FAX 075-955-1063
東京営業所	〒110-0016 東京都台東区台東2丁目12-2(不二DICビル)	TEL 03-3833-5330 (代)	FAX 03-3833-5350
名古屋営業所	〒460-0026 名古屋市中区伊勢山2丁目13-22(ITOHビル)	TEL 052-322-3481 (代)	FAX 052-322-3483
大阪営業所	〒550-0013 大阪市西区新町1丁目2-13(新町ビル)	TEL 06-6538-7136 (代)	FAX 06-6538-7138
京都営業所	〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町336-1	TEL 075-924-3293 (代)	FAX 075-924-3290
伏見工場	〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町336-1	TEL 075-931-2731 (代)	FAX 075-934-8746

©2007 NKE Corporation